
三田市
ケアマネジャー調査
報告書

令和2年8月

目次

| | |
|--------------------------|----|
| 1. 調査概要 | 1 |
| (1) 調査目的 | 1 |
| (2) 調査の実施について | 1 |
| (3) 調査の回収状況 | 1 |
| (4) 留意点 | 1 |
| 2. ケアマネジャー自身のことについて | 2 |
| (1) 性別・年齢 | 2 |
| (2) ケアマネジャーとしてのスキル | 3 |
| 3. 利用者の状況について | 5 |
| (1) 担当している利用者数 | 5 |
| (2) 生活の維持が困難な利用者 | 7 |
| (3) 利用者からの苦情や相談 | 9 |
| (4) 虐待又は虐待の疑いがあると思われた事例 | 10 |
| 4. サービス・社会資源について | 12 |
| (1) ケアプラン作成時の困りごと | 12 |
| (2) 圏域ごとのサービス・社会資源の状況 | 13 |
| (3) インフォーマルなサービスの活用 | 25 |
| (4) 利用者が知りたいと感じていること | 28 |
| (5) 認知症高齢者への支援 | 29 |
| (6) 利用者にとってわかりやすい情報の入手方法 | 30 |
| (7) 市の高齢者支援について | 31 |
| 5. 各所との連携について | 32 |
| (1) わからないことや困ったこと | 32 |
| (2) 各所との連携 | 34 |

1. 調査概要

(1) 調査目的

この調査は、令和3年度から令和5年度までの「三田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（いきいき安心プラン21）」の策定を行うにあたって、ケアマネジャー本人や担当されている要介護者を取り巻く現状について把握するために実施しました。

(2) 調査の実施について

以下の調査を実施しました。

| | |
|------|----------------------------------------|
| 対象者 | 市内の居宅介護支援事業所・地域包括支援センターに所属するケアマネジャー94名 |
| 実施期間 | 令和2年6月17日（水）～6月30日（火） |
| 実施方法 | 郵送 |

(3) 調査の回収状況

| | 配布数 | 回収数 | 有効回答数 | 有効回答率 |
|----|-----|-----|-------|-------|
| 全体 | 94 | 76 | 76 | 80.9% |

(4) 留意点

分析結果を見る際の留意点は以下の通りとなっています。

1. 「N」は「Number」の略で、比率算出の母数です。
2. 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合があります。
3. 複数回答の場合、図中にMA (Multiple Answer)、3LA (3 Limited Answer)、5LA (5 Limited Answer)と記載しています。また、不明（無回答）はグラフ・表から除いている場合があります。

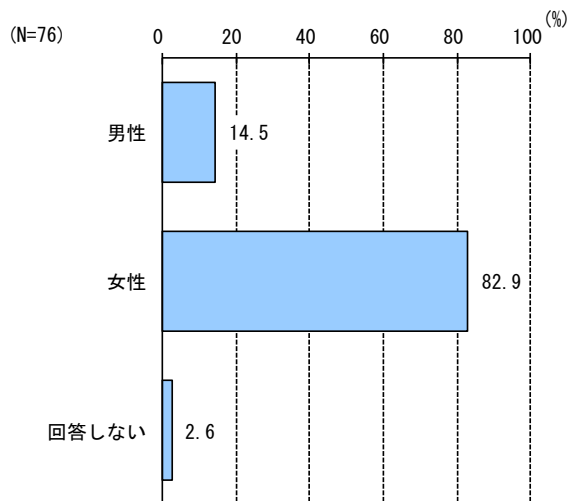
2. ケアマネジャー自身のことについて

(1) 性別・年齢

●問2 あなたの性別は、次のうちどれにあてはまりますか。(○は1つ)

○ 性別について、「女性」が82.9%、「男性」が14.5%となっています。

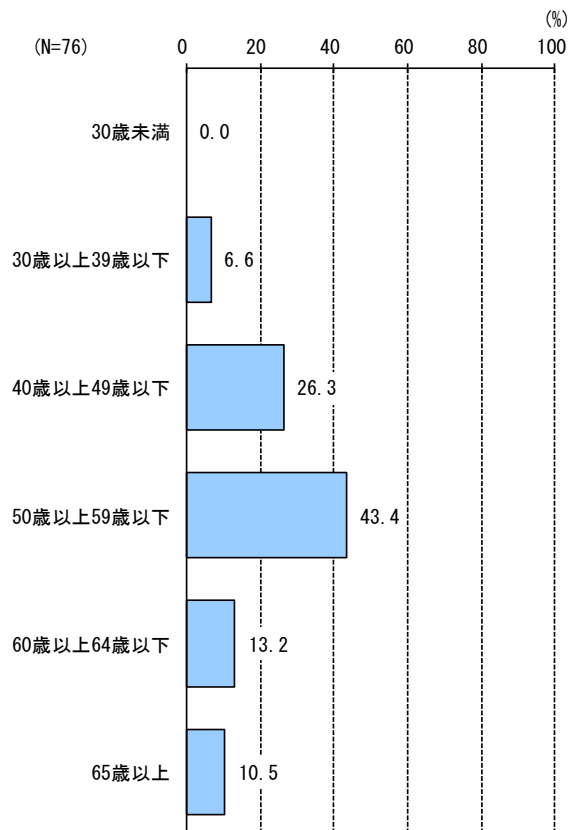
【性別】



●問3 あなたの年齢は、次のうちどれにあてはまりますか。(○は1つ)

○ 年齢について、「50歳以上59歳以下」が43.4%で最も多く、次いで「40歳以上49歳以下」が26.3%、「60歳以上64歳以下」が13.2%となっています。

【年齢】

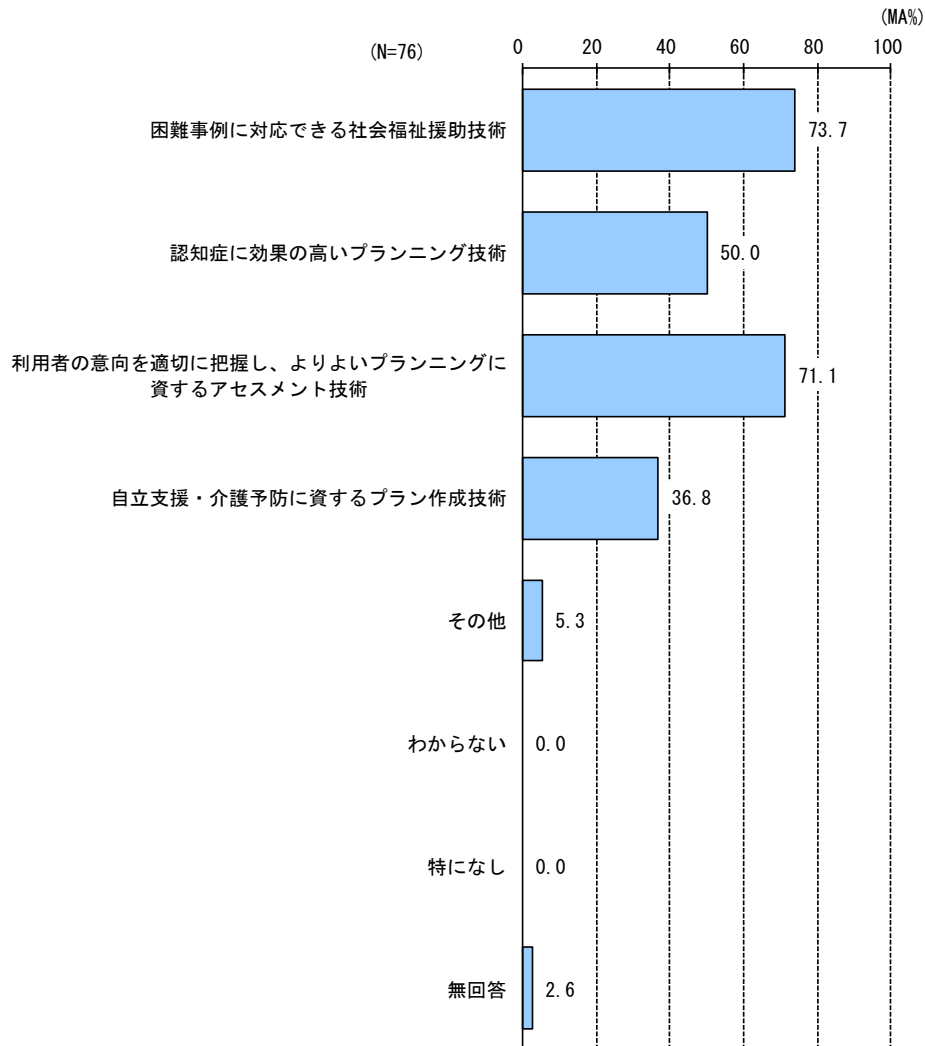


(2) ケアマネジャーとしてのスキル

- 問4 あなたの日頃の業務の中で頻繁に必要とされ、向上しなければならないと感じている「専門的技術」を次の中から選んでください。(〇はいくつでも)

○ 向上する必要がある専門的技術について、「困難事例に対応できる社会福祉援助技術」が73.7%で最も多く、次いで「利用者の意向を適切に把握し、よりよいプランニングに資するアセスメント技術」が71.1%、「認知症に効果の高いプランニング技術」が50.0%となっています。

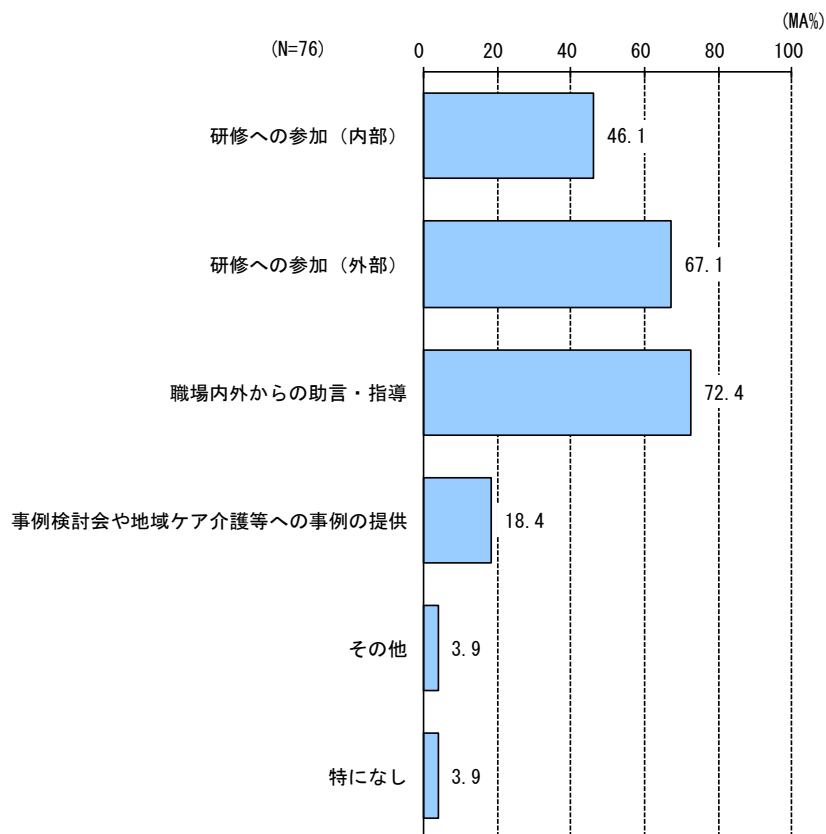
【向上する必要がある専門的技術】



- 問5 あなたは、自分のケアマネジャー業務のレベルアップのために、現在、どのような取り組みを行っていますか。(〇はいくつでも)

○ レベルアップのための取り組みについて、「職場内外からの助言・指導」が72.4%で最も多く、次いで「研修への参加(外部)」が67.1%、「研修への参加(内部)」が46.1%となっています。

【レベルアップのための取り組み】



- 問5-1 問5で「6. 特になし」を選んだ方にお伺いします。その理由は何ですか。(〇はいくつでも)

○ レベルアップのための取り組みを行っていない理由について、「その他」が100.0%で最も多く、次いで「自分の意思」「時間・地理的な制約」が33.3%となっています。

【レベルアップのための取り組みを行っていない理由】

単位: 件

| 全体 | 自分の意思 | 職場の雰囲気 | 時間・地理的な制約 | 先輩や上司の判断 | その他 | 特になし |
|-------------------------|-------|--------|-----------|----------|-----|------|
| 3 | 1 | 0 | 1 | 0 | 3 | 0 |
| その他 | | | | | | |
| 研修内容が変わらず。 | | | | | | |
| コロナで自粛しているため。 | | | | | | |
| 20年以上の実務あって信頼のある友人等に相談。 | | | | | | |

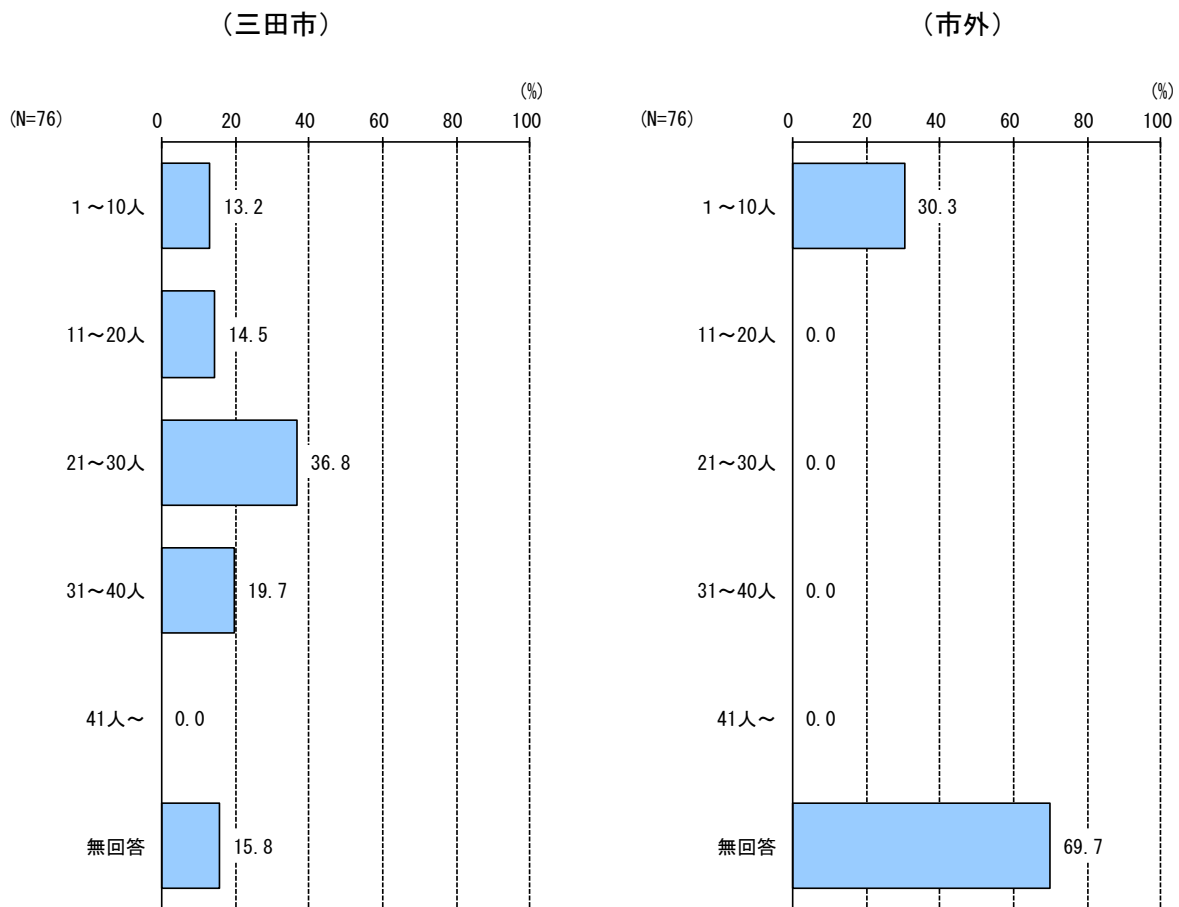
3. 利用者の状況について

(1) 担当している利用者数

●問6 あなたが担当している利用者数などについて伺います。担当する利用者がいない場合は「0」と記入してください。(市内と市外についてそれぞれ人数を記入)(令和2年6月1日時点) ※継続的に関わっている利用者数を記入してください(短期的入院者等も含む)。

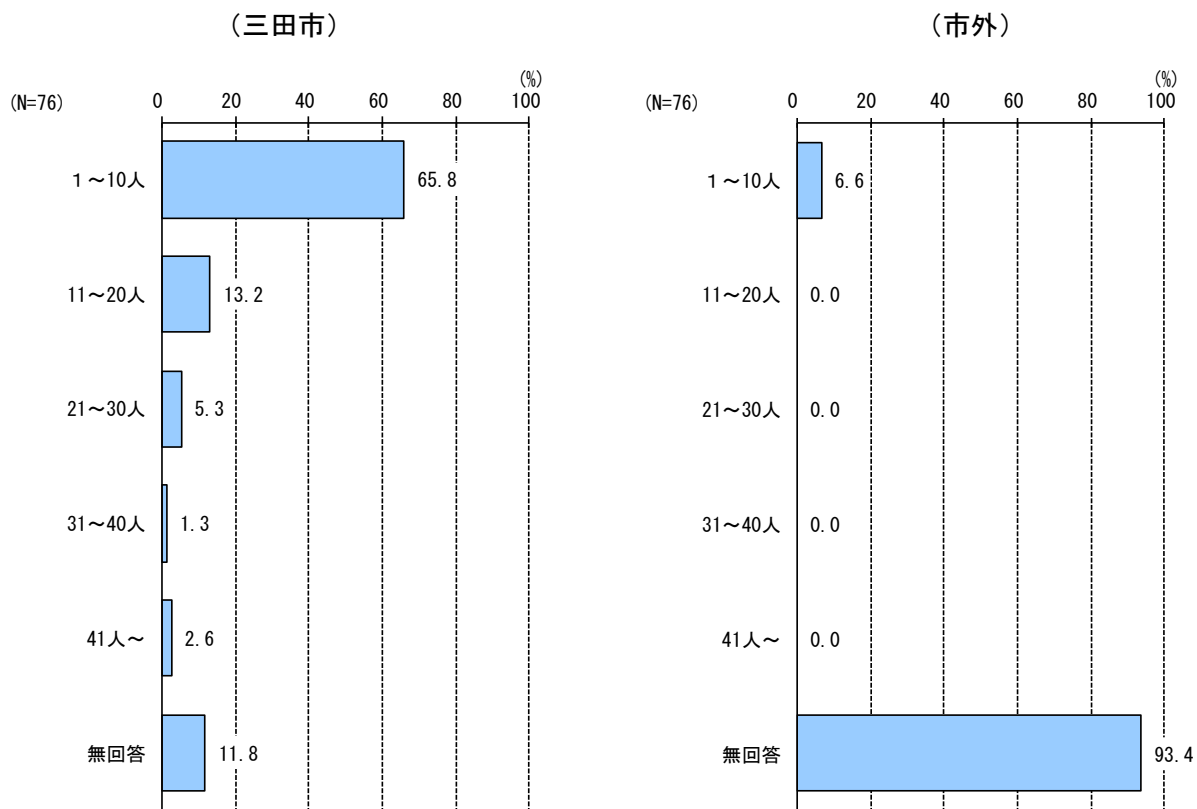
・介護サービス計画

○ 介護サービス計画の担当利用者数について、三田市では「21～30人」が36.8%で最も多く、次いで「31～40人」が19.7%となっています。市外では「1～10人」が30.3%となっています。



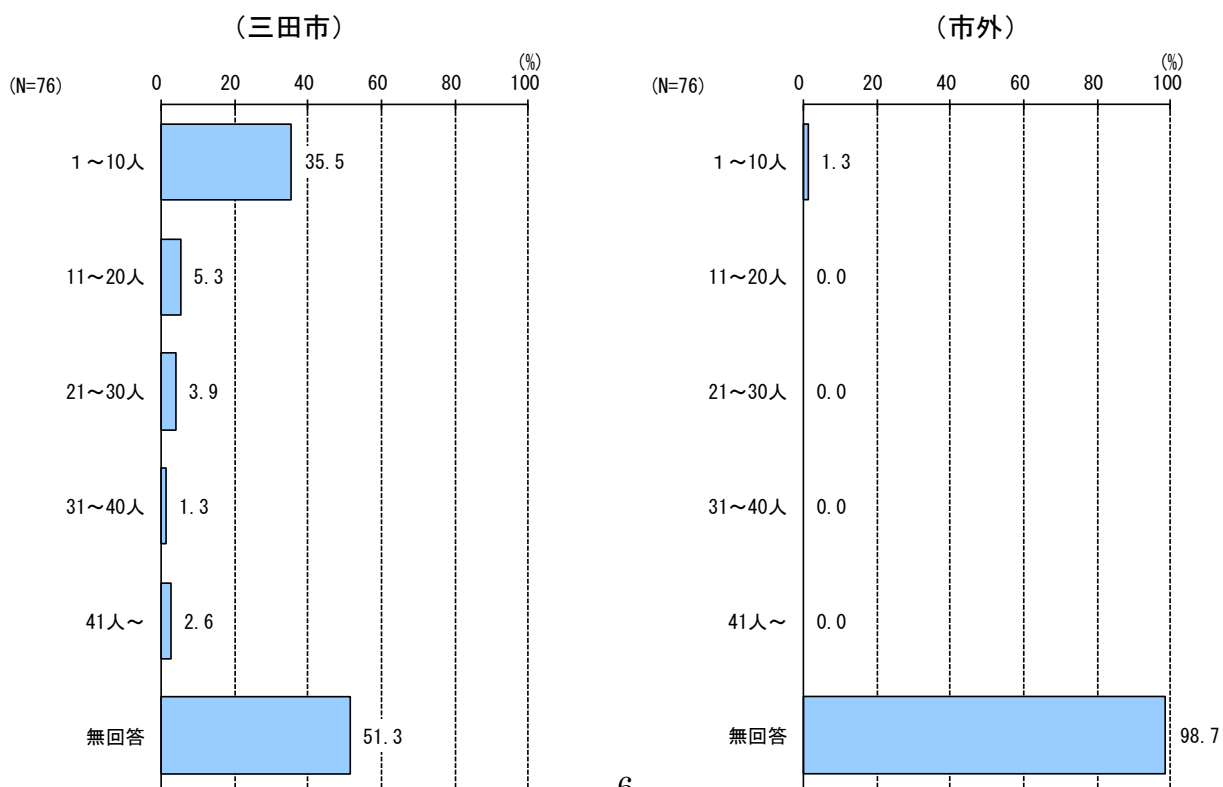
・介護予防サービス計画

○ 介護予防サービス計画の担当利用者数について、三田市では「1～10人」が65.8%で最も多く、次いで「11～20人」が13.2%となっています。市外では「1～10人」が6.6%となっています。



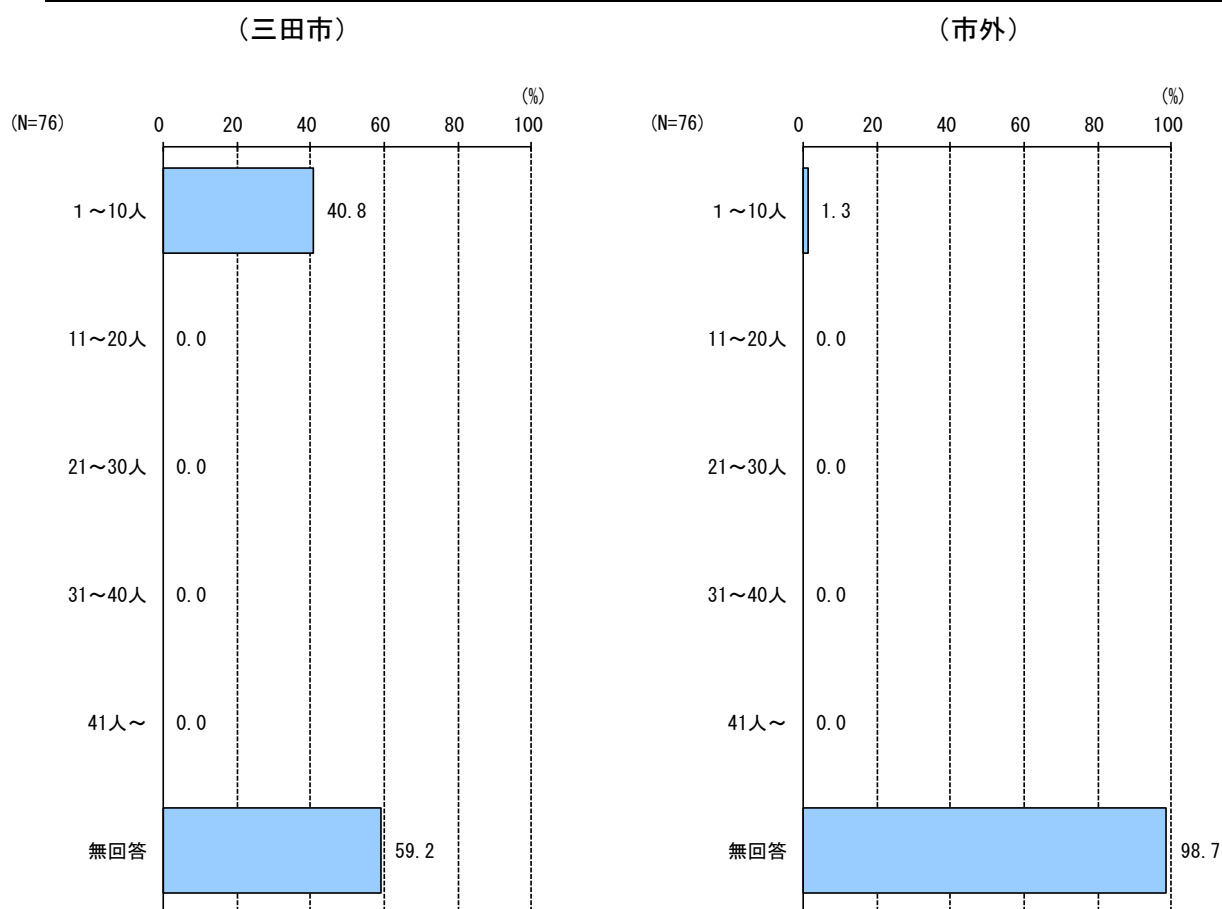
・介護予防ケアマネジメント

○ 介護予防ケアマネジメントの担当利用者数について、三田市では「1～10人」が35.5%で最も多く、次いで「11～20人」が5.3%となっています。市外では「1～10人」が1.3%（1人）となっています。



・入院等の理由により、計画策定を保留中

○ 計画策定を保留中の担当利用者数について、三田市では「1～10人」が40.8%となっています。市外では「1～10人」が1.3%（1人）となっています。

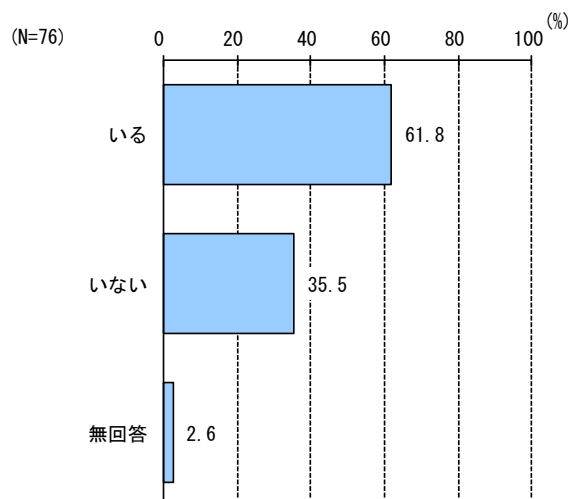


(2) 生活の維持が困難な利用者

●問7 現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者はいますか。(○は1つ)

○ 生活の維持が困難な利用者について、「いる」が61.8%、「いない」が35.5%となっています。

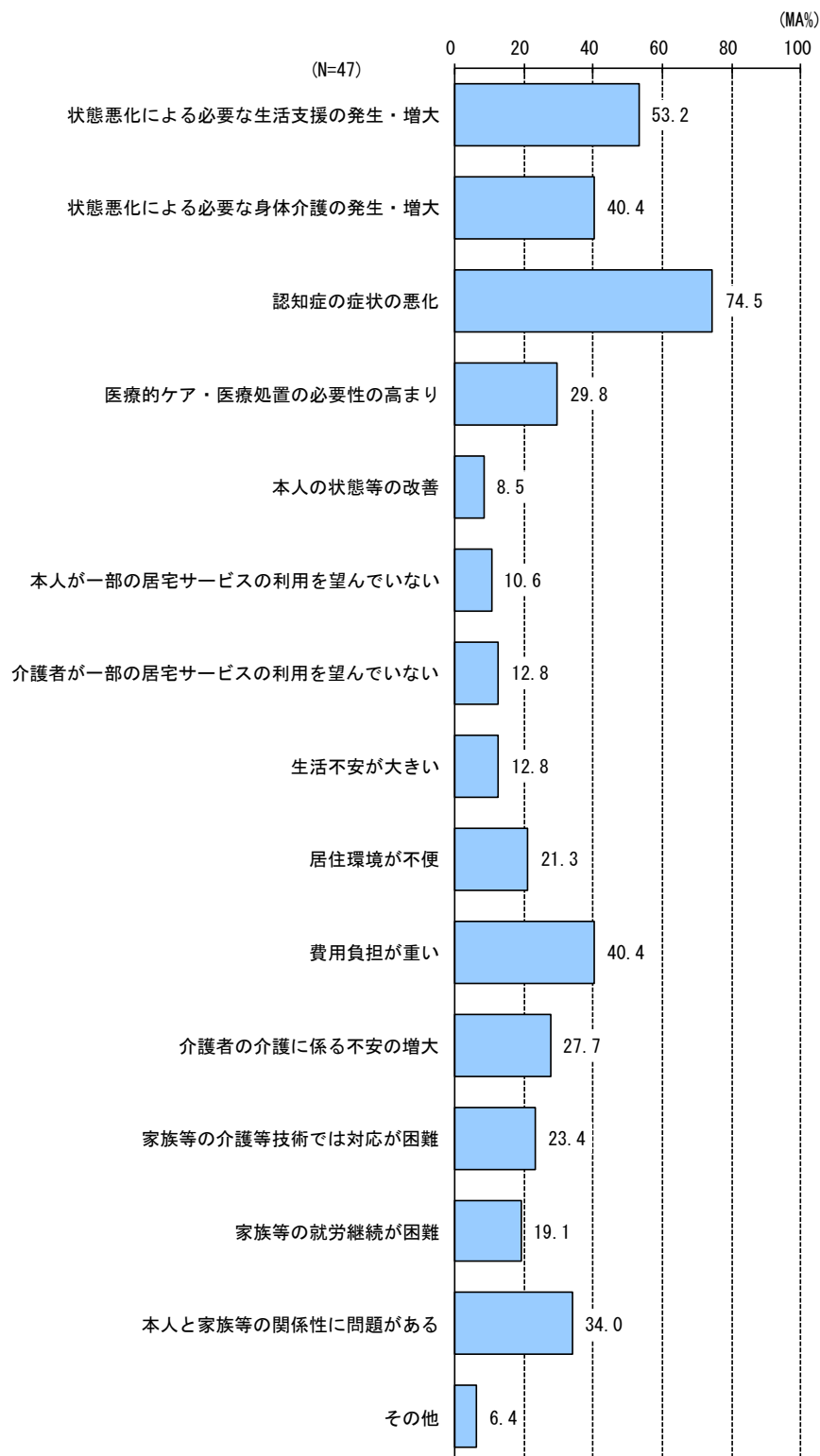
【生活の維持が困難な利用者】



●問 7-1 問 7で「1. いる」を選んだ方にお伺いします。生活が難しくなっている理由は何ですか。(〇はいくつでも)

○ 生活の維持が困難な理由について、「認知症の症状の悪化」が74.5%で最も多く、次いで「状態悪化による必要な生活支援の発生・増大」が53.2%、「状態悪化による必要な身体介護の発生・増大」「費用負担が重い」が40.4%となっています。

【生活の維持が困難な理由】

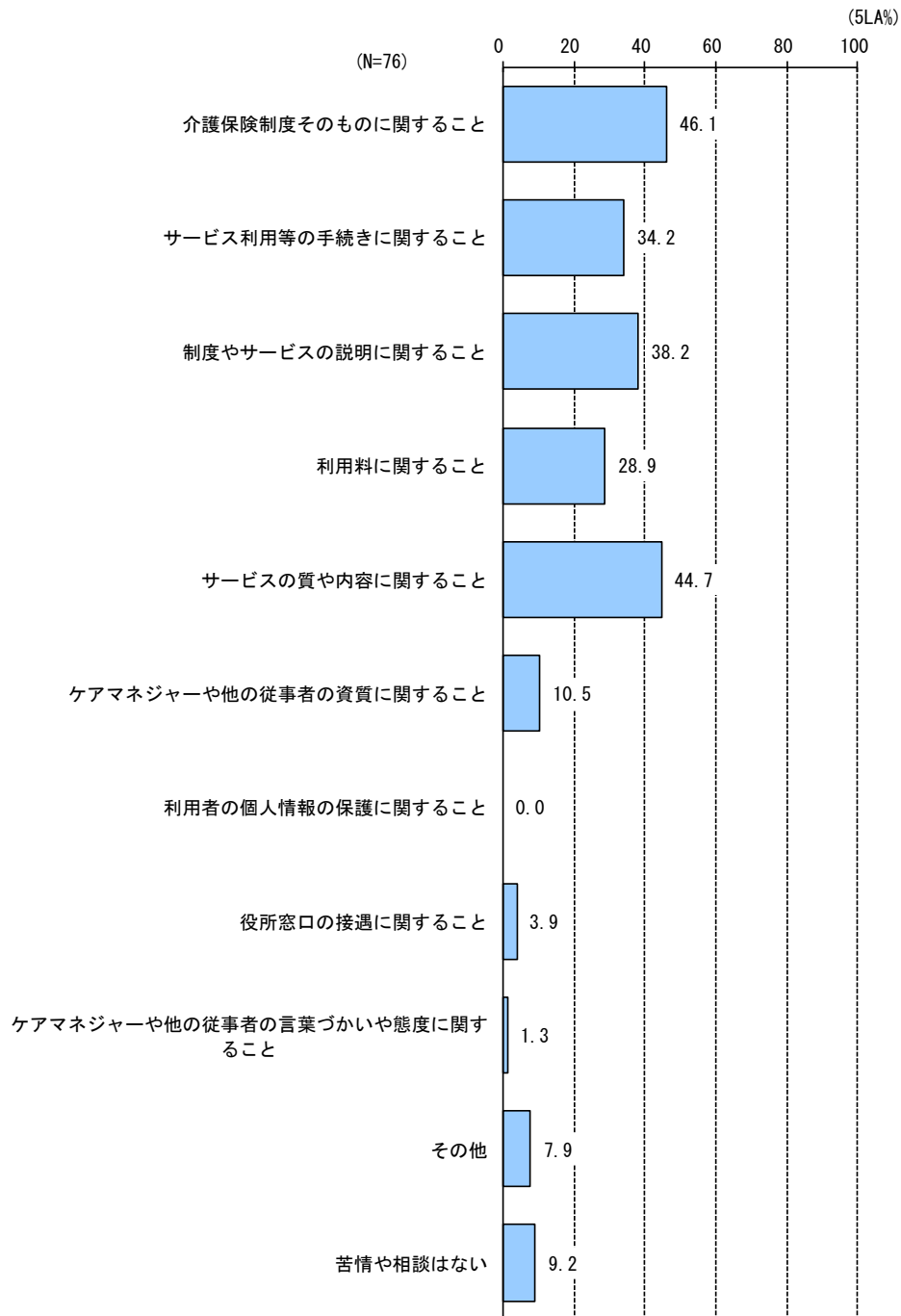


(3) 利用者からの苦情や相談

●問8 利用者や家族からあげられる苦情や相談の内容としては、どのようなものがありますか。(5つまで○)

○ 利用者や家族からの苦情や相談について、「介護保険制度そのものに関すること」が46.1%で最も多く、次いで「サービスの質や内容に関すること」が44.7%、「制度やサービスの説明に関すること」が38.2%となっています。

【利用者や家族からの苦情や相談】

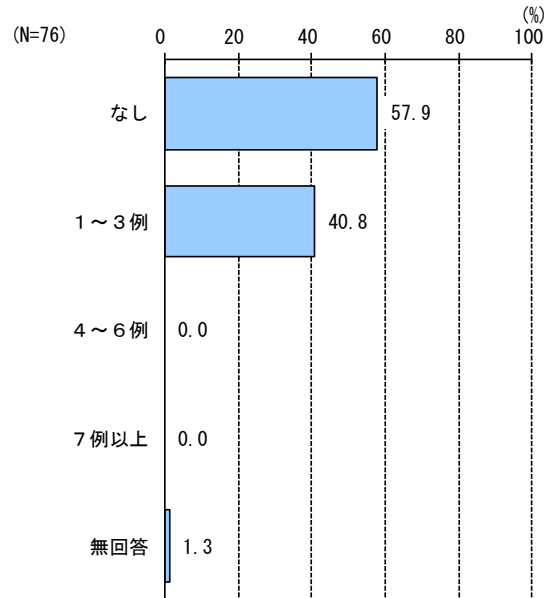


(4) 虐待又は虐待の疑いがあると思われた事例

- 問9 あなたが過去5年間（平成27年7月～令和2年6月）に担当した中で、虐待又は虐待の疑いがあると思われた三田市の利用者はどれくらいいましたか。（〇は1つ）

○ 虐待又は虐待の疑いがあると思われた利用者について、「なし」が57.9%で最も多くなっていますが、次いで「1～3例」が40.8%となっています。

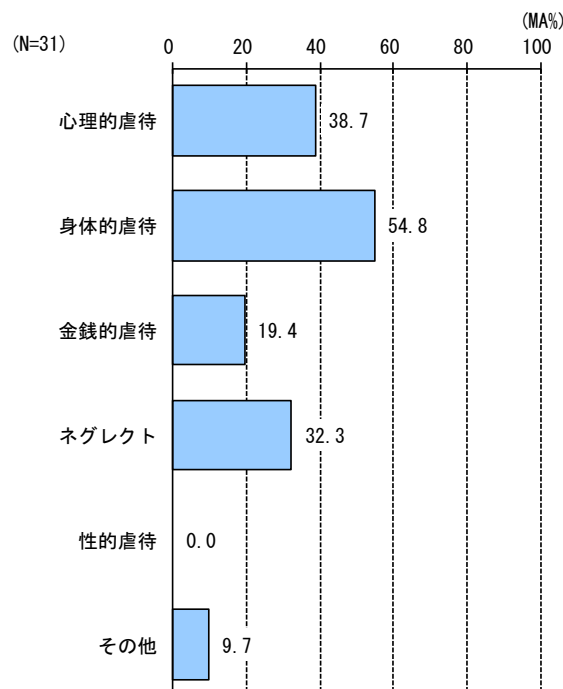
【虐待又は虐待の疑いがあると思われた利用者】



- 問9-1 問9で「2. 1～3例」「3. 4～6例」「4. 7例以上」を選んだ方にお伺いします。虐待又は虐待の疑いがあると思われた事例はどのような種別でしたか。（〇はいくつでも）

○ 虐待又は虐待の疑いがあると思われた事例について、「身体的虐待」が54.8%で最も多く、次いで「心理的虐待」が38.7%、「ネグレクト」が32.3%となっています。

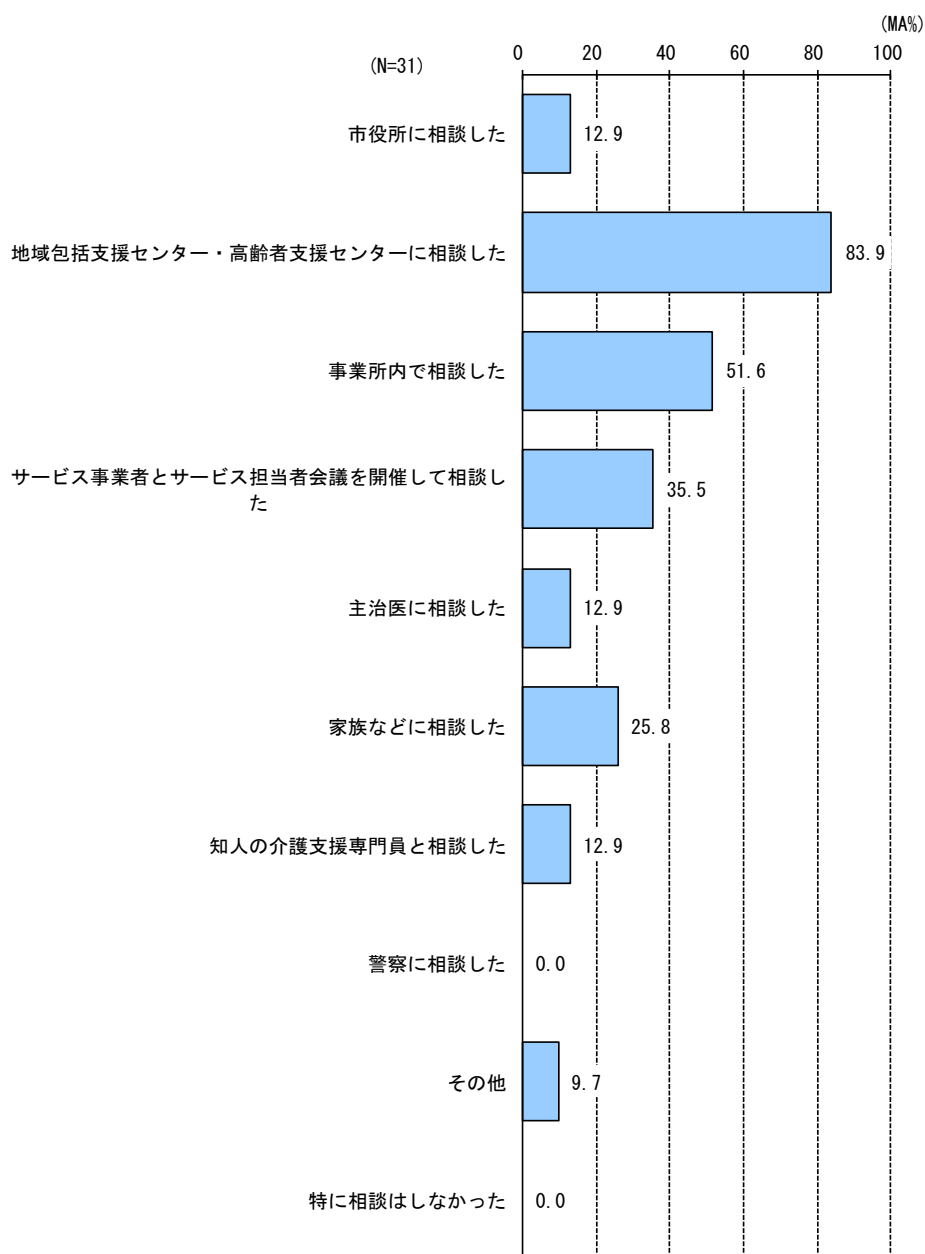
【虐待又は虐待の疑いがあると思われた事例】



- 問9-2 問9で「2. 1～3例」「3. 4～6例」「4. 7例以上」を選んだ方にお伺いします。その対応として、どこに相談しましたか。(○はいくつでも)
- 問9-2-1 問9-2で「10. 特に相談はしなかった」を選んだ方にお伺いします。その理由は何ですか。(○はいくつでも)

- 虐待又は虐待の疑いがあると思われた事例の相談先について、「地域包括支援センター・高齢者支援センターに相談した」が83.9%で最も多く、次いで「事業所内で相談した」が51.6%、「サービス事業者とサービス担当者会議を開催して相談した」が35.5%となっています。
- 「特に相談はしなかった」は0.0%と、いずれの事例も相談されていることが分かります。

【虐待又は虐待の疑いがあると思われた事例の相談先】



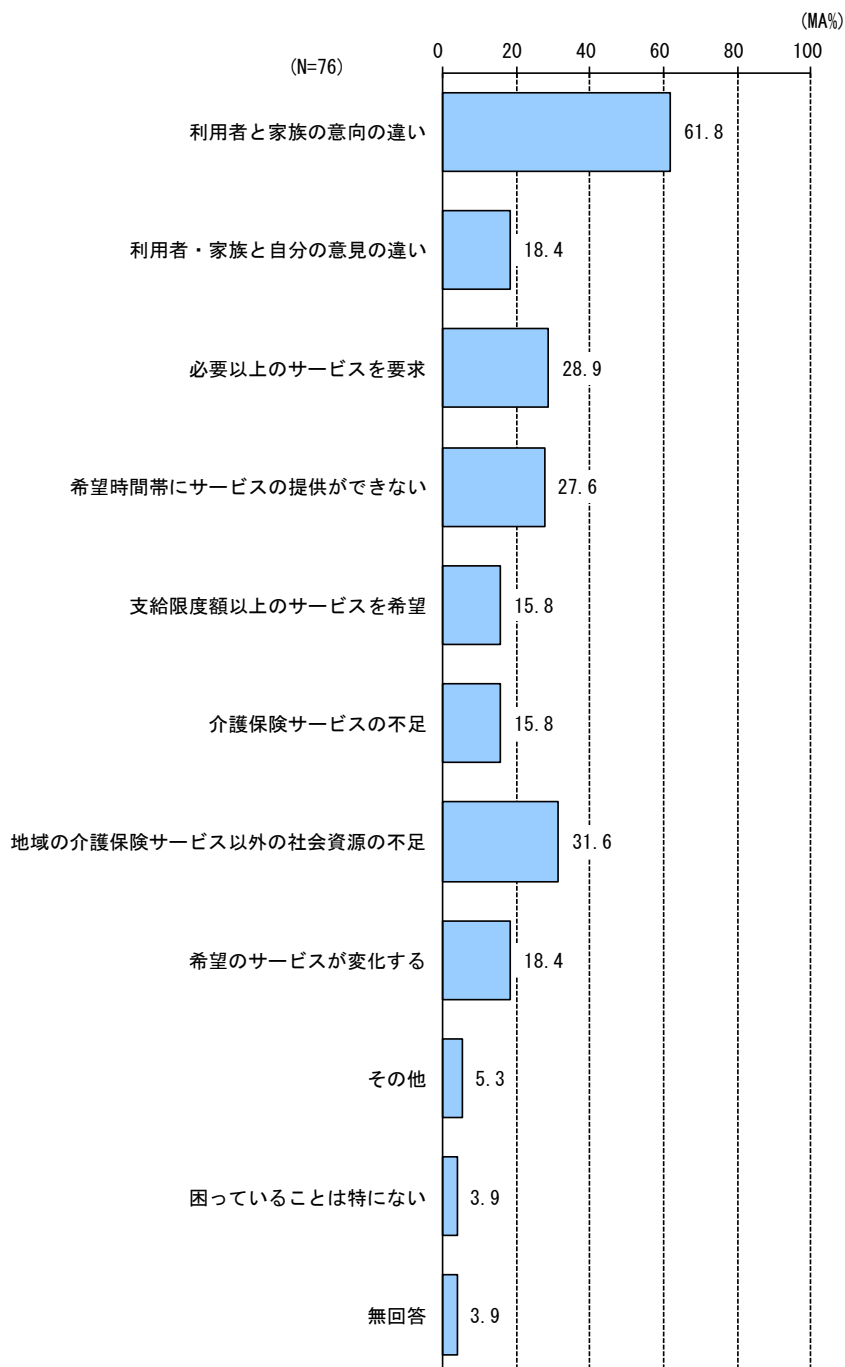
4. サービス・社会資源について

(1) ケアプラン作成時の困りごと

●問 10 あなたはケアプランを作成するうえで困ることはありますか。(○はいくつでも)

○ ケアプラン作成時の困りごとについて、「利用者と家族の意向の違い」が61.8%で最も多く、次いで「地域の介護保険サービス以外の社会資源の不足」が31.6%、「必要以上のサービスを要求」が28.9%となっています。

【ケアプラン作成時の困りごと】



(2) 圏域ごとのサービス・社会資源の状況

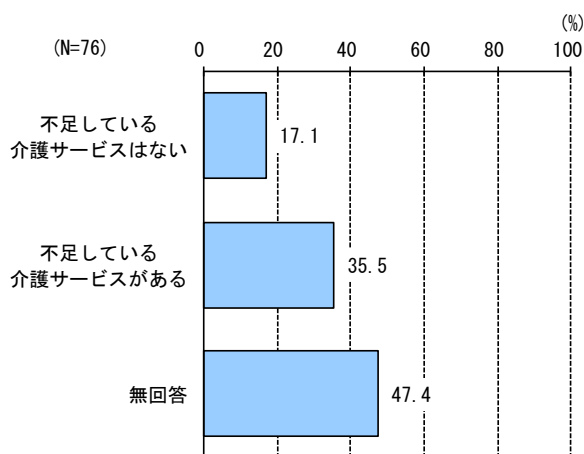
●問 11 三田市に不足しているサービスは何ですか。圏域ごとに下記から選び、番号をご記入ください。(各圏域3つまで)

●問 12 介護保険サービス以外に充実が必要なサービスは何ですか。圏域ごとに下記から選び、番号をご記入ください。(各圏域3つまで)

・三田・三輪南圏域

- 「不足している介護サービスがある」が 35.5%となっています。不足しているサービスを見ると、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」(11.8%)「訪問リハビリテーション」(10.5%)等があがっています。
- 「不足している介護予防サービスがある」が 21.1%となっています。不足しているサービスを見ると、「介護予防通所リハビリテーション」(7.9%)「介護予防認知症対応型通所介護」(6.6%)等があがっています。

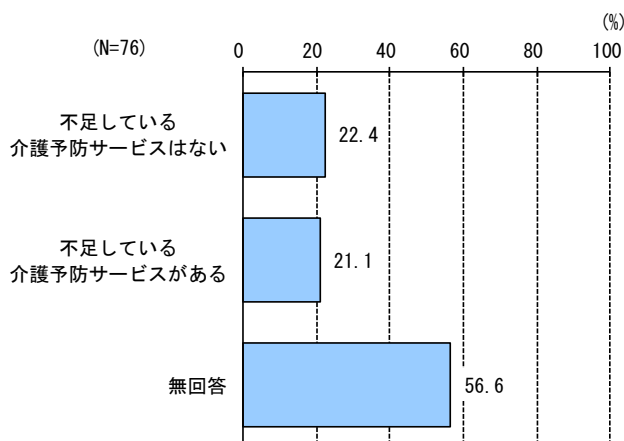
【介護サービス】



(N=76)

| 介護サービス | 件 | 3LA% |
|-------------------|---|------|
| 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | 9 | 11.8 |
| 訪問リハビリテーション | 8 | 10.5 |
| 夜間対応型訪問介護 | 7 | 9.2 |
| 短期入所生活介護・短期入所療養介護 | 4 | 5.3 |
| 看護小規模多機能型居宅介護 | 4 | 5.3 |
| 介護老人保健施設 | 4 | 5.3 |
| 居宅療養管理指導 | 3 | 3.9 |
| 認知症対応型通所介護 | 3 | 3.9 |
| 小規模多機能型居宅介護 | 3 | 3.9 |
| 認知症対応型共同生活介護 | 3 | 3.9 |
| 介護老人福祉施設 | 3 | 3.9 |
| 訪問入浴介護 | 2 | 2.6 |
| 通所リハビリテーション | 2 | 2.6 |
| 特定施設入居者生活介護 | 2 | 2.6 |
| 訪問介護 | 1 | 1.3 |
| 通所介護 | 1 | 1.3 |
| 介護療養型医療施設・介護医療院 | 1 | 1.3 |

【介護予防サービス】

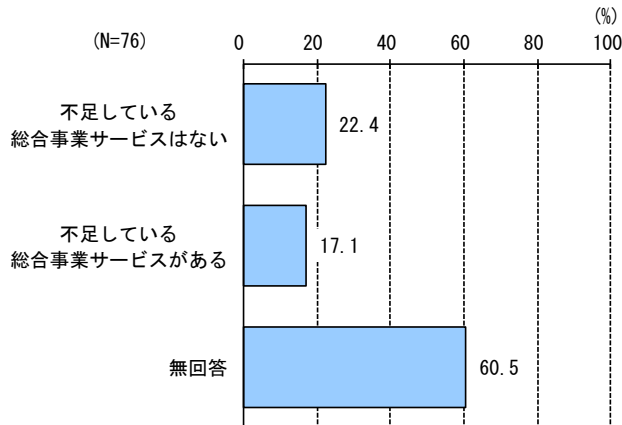


(N=76)

| 介護予防サービス | 件 | 3LA% |
|---------------------|---|------|
| 介護予防通所リハビリテーション | 6 | 7.9 |
| 介護予防認知症対応型通所介護 | 5 | 6.6 |
| 介護予防訪問リハビリテーション | 4 | 5.3 |
| 介護予防小規模多機能型居宅介護 | 3 | 3.9 |
| 介護予防訪問入浴介護 | 2 | 2.6 |
| 介護予防特定入居者生活介護 | 2 | 2.6 |
| 介護予防認知症対応型共同生活介護 | 2 | 2.6 |
| 介護予防訪問看護 | 1 | 1.3 |
| 介護予防短期生活介護・短期入所療養介護 | 1 | 1.3 |
| 介護予防支援 | 1 | 1.3 |

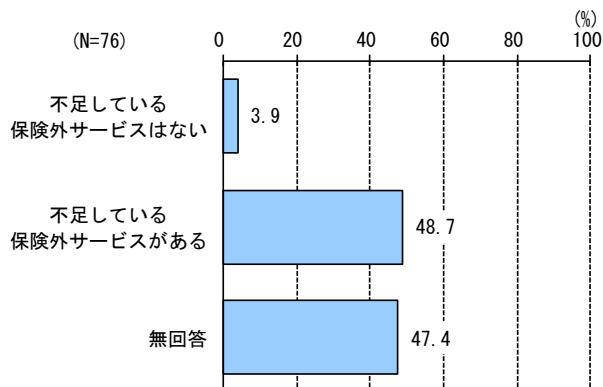
- 「不足している総合事業サービスがある」が 17.1%となっています。不足しているサービスをみると、「訪問型サービスB（生活支援型）」(11.8%)等があがっています。
- 「不足している保険外サービスがある」が 48.7%となっています。不足しているサービスをみると、「外出同行（通院、買い物など）」(22.4%)「ゴミ出し」「見守り、声かけ」(17.1%)等があがっています。

【総合事業】



| 総合事業 | | |
|----------------------|---|------|
| | 件 | 3LA% |
| 訪問型サービスB（生活支援型） | 9 | 11.8 |
| 訪問型サービスC（短期集中型） | 3 | 3.9 |
| 介護予防訪問介護相当サービス（現行相当） | 2 | 2.6 |
| 通所型サービスA（基準緩和型） | 2 | 2.6 |
| 通所型サービスB（生活支援型） | 2 | 2.6 |
| 通所型サービスC（短期集中型） | 2 | 2.6 |
| 訪問型サービスA（基準緩和型） | 1 | 1.3 |
| 介護予防通所介護相当サービス（現行相当） | 1 | 1.3 |

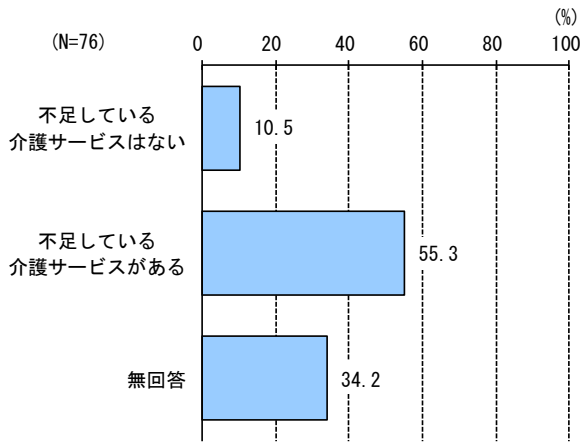
【保険外サービス】



| 保険外サービス | | |
|-------------------|----|------|
| | 件 | 3LA% |
| 外出同行（通院、買い物など） | 17 | 22.4 |
| ゴミ出し | 13 | 17.1 |
| 見守り、声かけ | 13 | 17.1 |
| 配食 | 9 | 11.8 |
| 買い物（宅配は含まない） | 7 | 9.2 |
| サロンなどの定期的な通いの場 | 7 | 9.2 |
| 移送サービス（介護・福祉タクシー） | 5 | 6.6 |
| 調理 | 1 | 1.3 |
| 掃除・洗濯 | 1 | 1.3 |

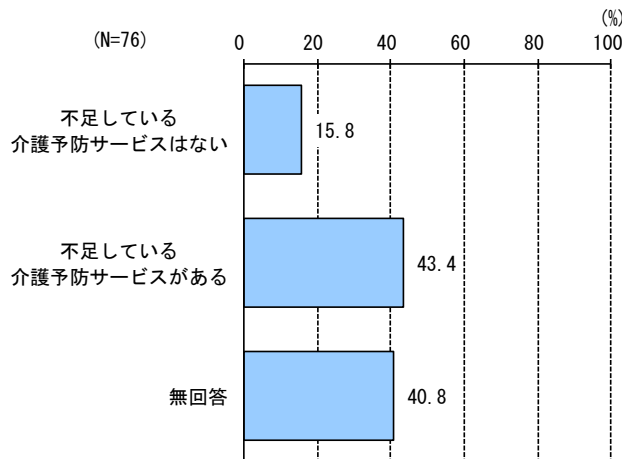
- 「不足している介護サービスがある」が 55.3%となっています。不足しているサービスを見ると、「通所介護」(22.4%)「通所リハビリテーション」(21.1%)等があがっています。
- 「不足している介護予防サービスがある」が 43.4%となっています。不足しているサービスを見ると、「介護予防通所リハビリテーション」(19.7%)等があがっています。

【介護サービス】



| 介護サービス | 件 | 3LA% |
|----------------------|----|------|
| 通所介護 | 17 | 22.4 |
| 通所リハビリテーション | 16 | 21.1 |
| 訪問介護 | 13 | 17.1 |
| 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | 11 | 14.5 |
| 訪問リハビリテーション | 6 | 7.9 |
| 夜間対応型訪問介護 | 6 | 7.9 |
| 認知症対応型通所介護 | 5 | 6.6 |
| 短期入所生活介護・短期入所療養介護 | 4 | 5.3 |
| 訪問入浴介護 | 3 | 3.9 |
| 在宅療養管理指導 | 3 | 3.9 |
| 看護小規模多機能型居宅介護 | 3 | 3.9 |
| 介護老人福祉施設 | 3 | 3.9 |
| 介護老人保健施設 | 3 | 3.9 |
| 特定施設入居者生活介護 | 2 | 2.6 |
| 小規模多機能型居宅介護 | 2 | 2.6 |
| 認知症対応型共同生活介護 | 2 | 2.6 |
| 介護療養型医療施設・介護医療院 | 2 | 2.6 |
| 訪問看護 | 1 | 1.3 |
| 地域密着型特定施設入居者生活介護 | 1 | 1.3 |
| 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 | 1 | 1.3 |

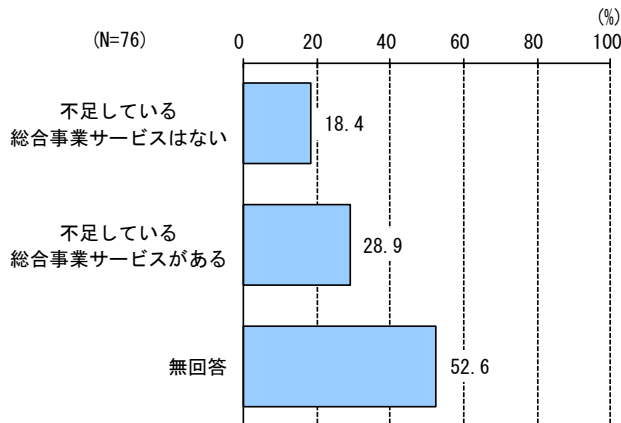
【介護予防サービス】



| 介護予防サービス | 件 | 3LA% |
|---------------------|----|------|
| 介護予防通所リハビリテーション | 15 | 19.7 |
| 介護予防訪問入浴介護 | 6 | 7.9 |
| 介護予防小規模多機能型居宅介護 | 6 | 7.9 |
| 介護予防認知症対応型通所介護 | 5 | 6.6 |
| 介護予防訪問リハビリテーション | 4 | 5.3 |
| 介護予防短期生活介護・短期入所療養介護 | 4 | 5.3 |
| 介護予防認知症対応型共同生活介護 | 4 | 5.3 |
| 介護予防特定入居者生活介護 | 3 | 3.9 |
| 介護予防福祉用具貸与・購入 | 2 | 2.6 |
| 介護予防支援 | 2 | 2.6 |
| 介護予防訪問看護 | 1 | 1.3 |

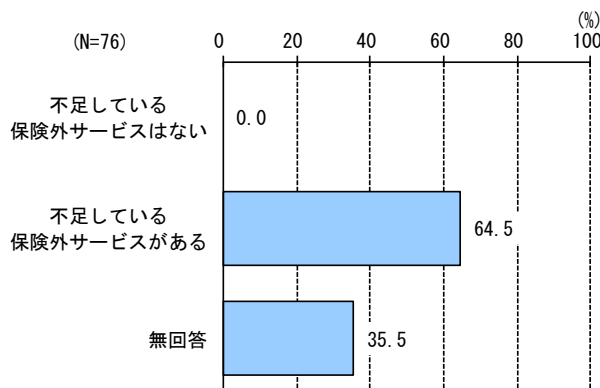
- 「不足している総合事業サービスがある」が 28.9%となっています。不足しているサービスをみると、「訪問型サービス B（生活支援型）」(11.8%)「介護予防訪問介護相当サービス（現行相当）」「介護予防通所介護相当サービス（現行相当）」(7.9%) 等があがっています。
- 「不足している保険外サービスがある」が 64.5%となっています。不足しているサービスをみると、「買い物（宅配は含まない）」(27.6%)「配食」「外出同行（通院、買い物など）」(23.7%)、「ゴミ出し」「移送サービス（介護・福祉タクシー）」(21.1%) 等があがっています。

【総合事業】



| 総合事業サービス | 件 | 3LA% |
|----------------------|---|------|
| 訪問型サービスB（生活支援型） | 9 | 11.8 |
| 介護予防訪問介護相当サービス（現行相当） | 6 | 7.9 |
| 介護予防通所介護相当サービス（現行相当） | 6 | 7.9 |
| 訪問型サービスA（基準緩和型） | 4 | 5.3 |
| 通所型サービスA（基準緩和型） | 4 | 5.3 |
| 訪問型サービスC（短期集中型） | 3 | 3.9 |
| 通所型サービスB（生活支援型） | 2 | 2.6 |
| 通所型サービスC（短期集中型） | 2 | 2.6 |

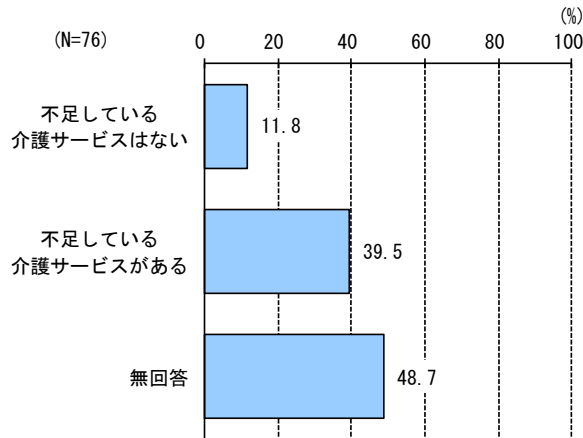
【保険外サービス】



| 保険外サービス | 件 | 3LA% |
|-------------------|----|------|
| 買い物（宅配は含まない） | 21 | 27.6 |
| 配食 | 18 | 23.7 |
| 外出同行（通院、買い物など） | 18 | 23.7 |
| ゴミ出し | 16 | 21.1 |
| 移送サービス（介護・福祉タクシー） | 16 | 21.1 |
| 見守り、声かけ | 12 | 15.8 |
| サロンなどの定期的な通いの場 | 7 | 9.2 |
| 調理 | 1 | 1.3 |
| 掃除・洗濯 | 1 | 1.3 |

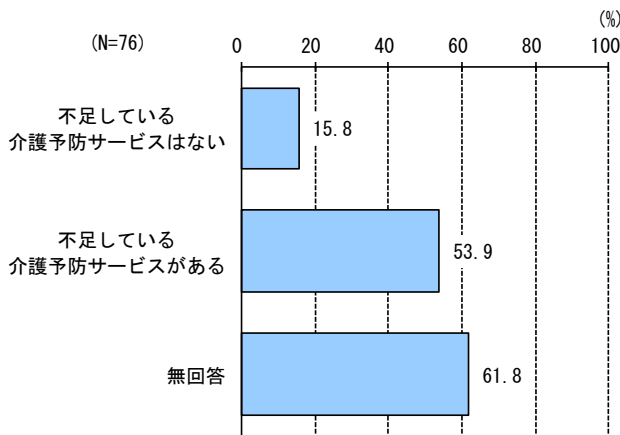
- 「不足している介護サービスがある」が 39.5%となっています。不足しているサービスを見ると、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」(17.1%)等があがっています。
- 「不足している介護予防サービスがある」が 53.9%となっています。不足しているサービスを見ると、「介護予防通所リハビリテーション」「介護予防小規模多機能型居宅介護」(6.6%)「介護予防訪問リハビリテーション」(5.3%)等があがっています。

【介護サービス】



| 介護サービス | 件 | 3LA% |
|-------------------|----|------|
| 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | 13 | 17.1 |
| 夜間対応型訪問介護 | 8 | 10.5 |
| 訪問介護 | 5 | 6.6 |
| 通所介護 | 5 | 6.6 |
| 訪問リハビリテーション | 4 | 5.3 |
| 短期入所生活介護・短期入所療養介護 | 4 | 5.3 |
| 小規模多機能型居宅介護 | 4 | 5.3 |
| 訪問入浴介護 | 3 | 3.9 |
| 介護老人福祉施設 | 3 | 3.9 |
| 居宅療養管理指導 | 2 | 2.6 |
| 特定施設入居者生活介護 | 2 | 2.6 |
| 居宅介護支援 | 2 | 2.6 |
| 認知症対応型通所介護 | 2 | 2.6 |
| 認知症対応型共同生活介護 | 2 | 2.6 |
| 看護小規模多機能型居宅介護 | 2 | 2.6 |
| 福祉用具貸与・購入 | 1 | 1.3 |
| 地域密着型特定施設入居者生活介護 | 1 | 1.3 |

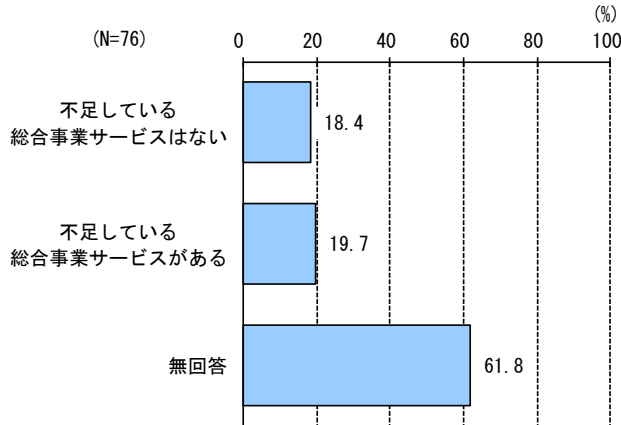
【介護予防サービス】



| 介護予防サービス | 件 | 3LA% |
|---------------------|---|------|
| 介護予防通所リハビリテーション | 5 | 6.6 |
| 介護予防小規模多機能型居宅介護 | 5 | 6.6 |
| 介護予防訪問リハビリテーション | 4 | 5.3 |
| 介護予防特定入居者生活介護 | 3 | 3.9 |
| 介護予防認知症対応型共同生活介護 | 3 | 3.9 |
| 介護予防訪問入浴介護 | 2 | 2.6 |
| 介護予防短期生活介護・短期入所療養介護 | 2 | 2.6 |
| 介護予防支援 | 2 | 2.6 |
| 介護予防認知症対応型通所介護 | 2 | 2.6 |
| 介護予防福祉用具貸与・購入 | 1 | 1.3 |
| 介護予防住宅改修 | 1 | 1.3 |

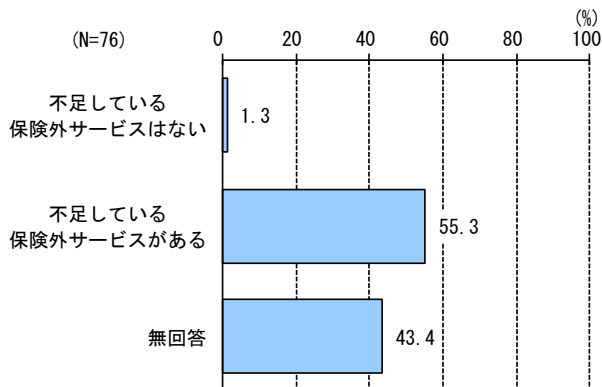
- 「不足している総合事業サービスがある」が 19.7%となっています。不足しているサービスを見ると、「訪問型サービス B（生活支援型）」（10.5%）等があがっています。
- 「不足している保険外サービスがある」が 55.3%となっています。不足しているサービスを見ると、「外出同行（通院、買い物など）」（23.7%）「買い物（宅配は含まない）」（21.1%）等があがっています。

【総合事業】



| 総合事業サービス | 件 | 3LA% |
|----------------------|---|------|
| 訪問型サービスB（生活支援型） | 8 | 10.5 |
| 介護予防訪問介護相当サービス（現行相当） | 3 | 3.9 |
| 訪問型サービスA（基準緩和型） | 3 | 3.9 |
| 訪問型サービスC（短期集中型） | 3 | 3.9 |
| 通所型サービスA（基準緩和型） | 3 | 3.9 |
| 介護予防通所介護相当サービス（現行相当） | 2 | 2.6 |
| 通所型サービスB（生活支援型） | 2 | 2.6 |
| 通所型サービスC（短期集中型） | 2 | 2.6 |

【保険外サービス】

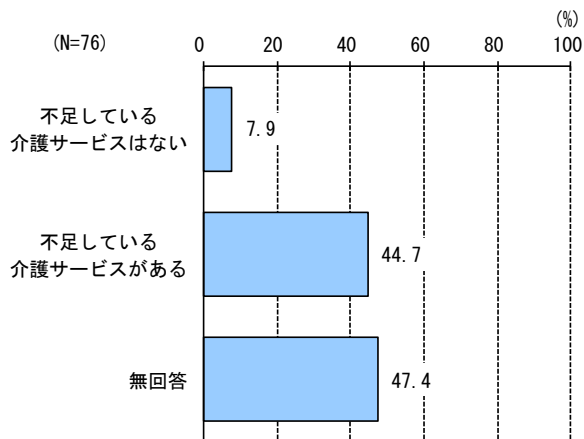


| 保険外サービス | 件 | 3LA% |
|-------------------|----|------|
| 外出同行（通院、買い物など） | 18 | 23.7 |
| 買い物（宅配は含まない） | 16 | 21.1 |
| 移送サービス（介護・福祉タクシー） | 12 | 15.8 |
| 見守り、声かけ | 11 | 14.5 |
| 配食 | 10 | 13.2 |
| ゴミ出し | 10 | 13.2 |
| サロンなどの定期的な通いの場 | 7 | 9.2 |
| 調理 | 1 | 1.3 |
| 掃除・洗濯 | 1 | 1.3 |

・ 藍圏域

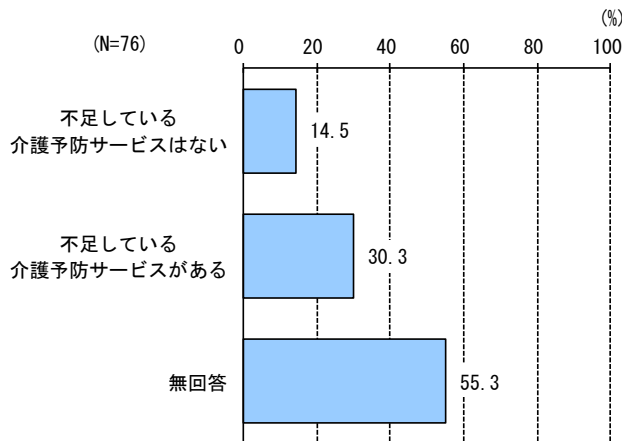
- 「不足している介護サービスがある」が 44.7%となっています。不足しているサービスを見ると、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」(18.4%)「夜間対応型訪問介護」(13.2%)等があがっています。
- 「不足している介護予防サービスがある」が 30.3%となっています。不足しているサービスを見ると、「介護予防訪問リハビリテーション」(9.2%)、「介護予防通所リハビリテーション」(7.9%)「介護予防小規模多機能型居宅介護」(7.9%)等があがっています。

【介護サービス】



| 介護サービス | 件 | 3LA% |
|----------------------|----|------|
| 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | 14 | 18.4 |
| 夜間対応型訪問介護 | 10 | 13.2 |
| 訪問介護 | 6 | 7.9 |
| 通所介護 | 6 | 7.9 |
| 訪問リハビリテーション | 5 | 6.6 |
| 訪問入浴介護 | 4 | 5.3 |
| 短期入所生活介護・短期入所療養介護 | 4 | 5.3 |
| 認知症対応型通所介護 | 4 | 5.3 |
| 小規模多機能型居宅介護 | 3 | 3.9 |
| 介護老人福祉施設 | 3 | 3.9 |
| 居宅療養管理指導 | 2 | 2.6 |
| 特定施設入居者生活介護 | 2 | 2.6 |
| 居宅介護支援 | 2 | 2.6 |
| 認知症対応型共同生活介護 | 2 | 2.6 |
| 看護小規模多機能型居宅介護 | 2 | 2.6 |
| 訪問看護 | 1 | 1.3 |
| 福祉用具貸与・購入 | 1 | 1.3 |
| 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 | 1 | 1.3 |
| 地域密着型通所介護 | 1 | 1.3 |

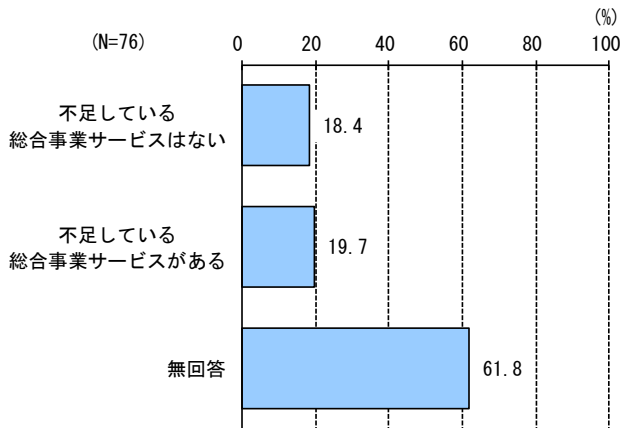
【介護予防サービス】



| 介護予防サービス | 件 | 3LA% |
|---------------------|---|------|
| 介護予防訪問リハビリテーション | 7 | 9.2 |
| 介護予防通所リハビリテーション | 6 | 7.9 |
| 介護予防小規模多機能型居宅介護 | 6 | 7.9 |
| 介護予防認知症対応型共同生活介護 | 4 | 5.3 |
| 介護予防訪問入浴介護 | 3 | 3.9 |
| 介護予防特定入居者生活介護 | 3 | 3.9 |
| 介護予防短期生活介護・短期入所療養介護 | 2 | 2.6 |
| 介護予防支援 | 2 | 2.6 |
| 介護予防認知症対応型通所介護 | 2 | 2.6 |
| 介護予防訪問看護 | 1 | 1.3 |
| 介護予防福祉用具貸与・購入 | 1 | 1.3 |

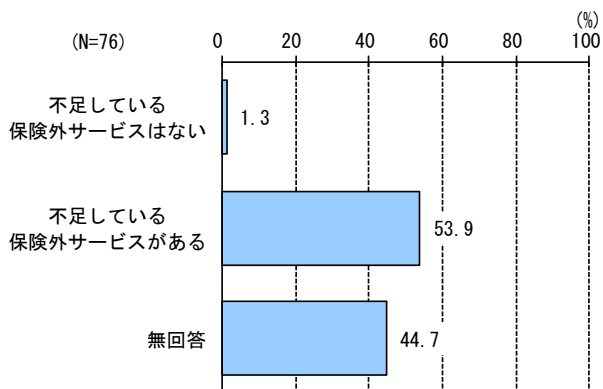
- 「不足している総合事業サービスがある」が 19.7%となっています。不足しているサービスを見ると、「訪問型サービスB（生活支援型）」（11.8%）等があがっています。
- 「不足している保険外サービスがある」が 53.9%となっています。不足しているサービスを見ると、「外出同行（通院、買い物など）」（21.1%）「配食」「買い物（宅配は含まない）」（18.4%）「移送サービス（介護・福祉タクシー）」（17.1%）等があがっています。

【総合事業】



| 総合事業サービス | 件 | 3LA% |
|----------------------|---|------|
| 訪問型サービスB（生活支援型） | 9 | 11.8 |
| 介護予防訪問介護相当サービス（現行相当） | 3 | 3.9 |
| 訪問型サービスC（短期集中型） | 3 | 3.9 |
| 通所型サービスA（基準緩和型） | 3 | 3.9 |
| 訪問型サービスA（基準緩和型） | 2 | 2.6 |
| 介護予防通所介護相当サービス（現行相当） | 2 | 2.6 |
| 通所型サービスB（生活支援型） | 2 | 2.6 |
| 通所型サービスC（短期集中型） | 2 | 2.6 |

【保険外サービス】

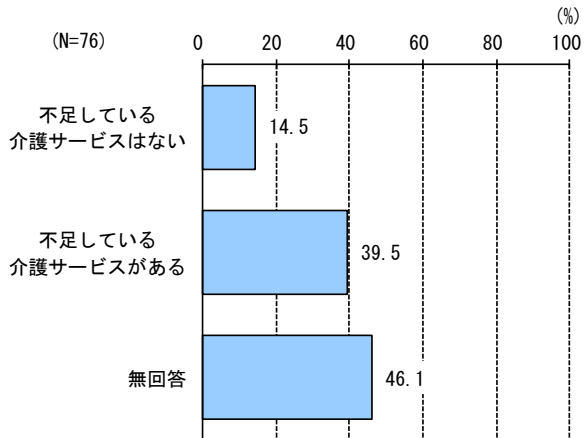


| 保険外サービス | 件 | 3LA% |
|-------------------|----|------|
| 外出同行（通院、買い物など） | 16 | 21.1 |
| 配食 | 14 | 18.4 |
| 買い物（宅配は含まない） | 14 | 18.4 |
| 移送サービス（介護・福祉タクシー） | 13 | 17.1 |
| 見守り、声かけ | 12 | 15.8 |
| ゴミ出し | 8 | 10.5 |
| サロンなどの定期的な通いの場 | 7 | 9.2 |
| 調理 | 1 | 1.3 |
| 掃除・洗濯 | 1 | 1.3 |

・フラワー圏域

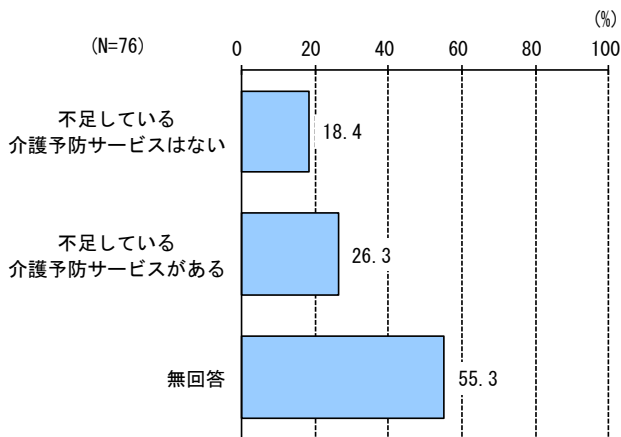
- 「不足している介護サービスがある」が 39.5%となっています。不足しているサービスを見ると、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」(14.5%)「夜間対応型訪問介護」(11.8%)等があがっています。
- 「不足している介護予防サービスがある」が 26.3%となっています。不足しているサービスを見ると、「介護予防認知症対応型通所介護」(7.9%)「介護予防通所リハビリテーション」(7.9%)「介護予防小規模多機能型居宅介護」(6.6%)等があがっています。

【介護サービス】



| 介護サービス | 件 | 3LA% |
|-------------------|----|------|
| 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | 11 | 14.5 |
| 夜間対応型訪問介護 | 9 | 11.8 |
| 訪問リハビリテーション | 6 | 7.9 |
| 訪問入浴介護 | 5 | 6.6 |
| 短期入所生活介護・短期入所療養介護 | 5 | 6.6 |
| 認知症対応型共同生活介護 | 5 | 6.6 |
| 通所リハビリテーション | 4 | 5.3 |
| 認知症対応型通所介護 | 4 | 5.3 |
| 看護小規模多機能型居宅介護 | 4 | 5.3 |
| 介護老人福祉施設 | 4 | 5.3 |
| 特定施設入居者生活介護 | 3 | 3.9 |
| 訪問介護 | 2 | 2.6 |
| 居宅療養管理指導 | 2 | 2.6 |
| 小規模多機能型居宅介護 | 2 | 2.6 |
| 介護老人保健施設 | 2 | 2.6 |
| 福祉用具貸与・購入 | 1 | 1.3 |
| 介護療養型医療施設・介護医療院 | 1 | 1.3 |

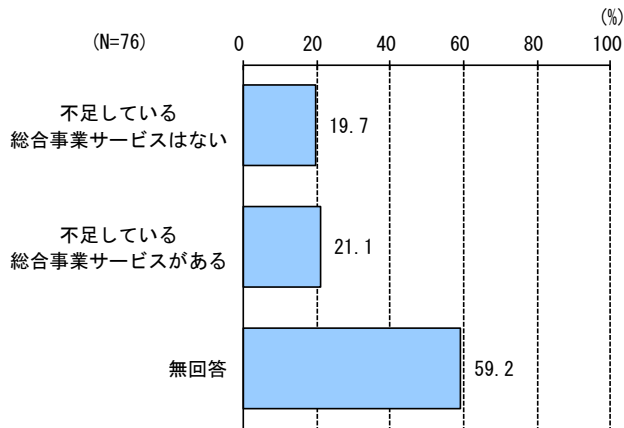
【介護予防サービス】



| 介護予防サービス | 件 | 3LA% |
|---------------------|---|------|
| 介護予防認知症対応型通所介護 | 6 | 7.9 |
| 介護予防通所リハビリテーション | 5 | 6.6 |
| 介護予防小規模多機能型居宅介護 | 5 | 6.6 |
| 介護予防認知症対応型共同生活介護 | 4 | 5.3 |
| 介護予防訪問入浴介護 | 3 | 3.9 |
| 介護予防特定入居者生活介護 | 3 | 3.9 |
| 介護予防訪問リハビリテーション | 2 | 2.6 |
| 介護予防支援 | 2 | 2.6 |
| 介護予防訪問看護 | 1 | 1.3 |
| 介護予防短期生活介護・短期入所療養介護 | 1 | 1.3 |
| 介護予防福祉用具貸与・購入 | 1 | 1.3 |
| 介護予防住宅改修 | 1 | 1.3 |

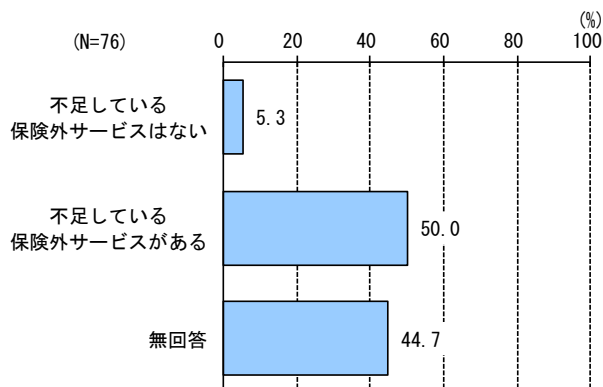
- 「不足している総合事業サービスがある」が 21.1%となっています。不足しているサービスを見ると、「訪問型サービス B（生活支援型）」（15.8%）等があがっています。
- 「不足している保険外サービスがある」が 50.0%となっています。不足しているサービスを見ると、「外出同行（通院、買い物など）」（30.3%）「見守り、声かけ」（19.7%）等があがっています。

【総合事業】



| 総合事業サービス | 件 | 3LA% |
|----------------------|----|------|
| 訪問型サービスB（生活支援型） | 12 | 15.8 |
| 通所型サービスB（生活支援型） | 6 | 7.9 |
| 通所型サービスA（基準緩和型） | 4 | 5.3 |
| 訪問型サービスC（短期集中型） | 3 | 3.9 |
| 通所型サービスC（短期集中型） | 3 | 3.9 |
| 介護予防訪問介護相当サービス（現行相当） | 1 | 1.3 |
| 訪問型サービスA（基準緩和型） | 1 | 1.3 |
| 介護予防通所介護相当サービス（現行相当） | 1 | 1.3 |

【保険外サービス】

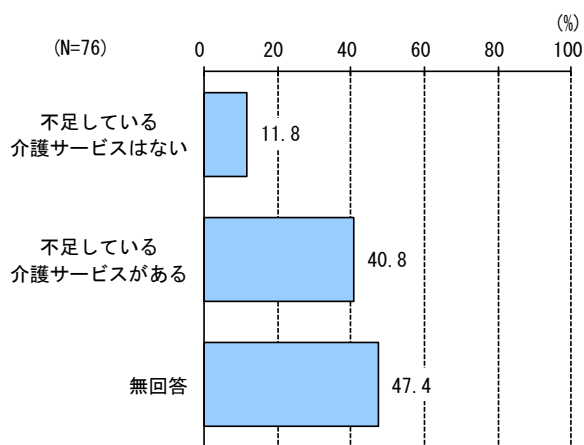


| 保険外サービス | 件 | 3LA% |
|-------------------|----|------|
| 外出同行（通院、買い物など） | 23 | 30.3 |
| 見守り、声かけ | 15 | 19.7 |
| ゴミ出し | 10 | 13.2 |
| サロンなどの定期的な通いの場 | 8 | 10.5 |
| 移送サービス（介護・福祉タクシー） | 7 | 9.2 |
| 配食 | 6 | 7.9 |
| 買い物（宅配は含まない） | 6 | 7.9 |
| 調理 | 3 | 3.9 |
| 掃除・洗濯 | 1 | 1.3 |

・ウッディ・カルチャー圏域

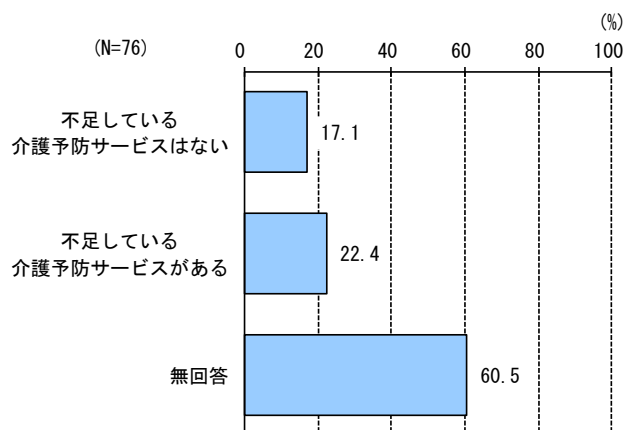
- 「不足している介護サービスがある」が40.8%となっています。不足しているサービスを見ると、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」(14.5%)「夜間対応型訪問介護」(10.5%)等があがっています。
- 「不足している介護予防サービスがある」が22.4%となっています。不足しているサービスを見ると、「介護予防通所リハビリテーション」「介護予防認知症対応型通所介護」「介護予防小規模多機能型居宅介護」(5.3%)等があがっています。

【介護サービス】



| 介護サービス | 件 | 3LA% |
|-------------------|----|------|
| 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | 11 | 14.5 |
| 夜間対応型訪問介護 | 8 | 10.5 |
| 訪問リハビリテーション | 7 | 9.2 |
| 短期入所生活介護・短期入所療養介護 | 7 | 9.2 |
| 訪問入浴介護 | 4 | 5.3 |
| 認知症対応型通所介護 | 4 | 5.3 |
| 介護老人福祉施設 | 4 | 5.3 |
| 通所リハビリテーション | 3 | 3.9 |
| 小規模多機能型居宅介護 | 3 | 3.9 |
| 認知症対応型共同生活介護 | 3 | 3.9 |
| 看護小規模多機能型居宅介護 | 3 | 3.9 |
| 居宅療養管理指導 | 2 | 2.6 |
| 特定施設入居者生活介護 | 2 | 2.6 |
| 介護老人保健施設 | 2 | 2.6 |
| 訪問介護 | 1 | 1.3 |
| 訪問看護 | 1 | 1.3 |
| 福祉用具貸与・購入 | 1 | 1.3 |
| 介護療養型医療施設・介護医療院 | 1 | 1.3 |

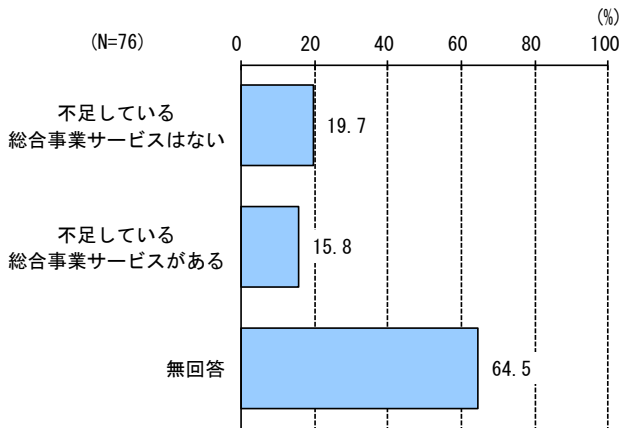
【介護予防サービス】



| 介護予防サービス | 件 | 3LA% |
|---------------------|---|------|
| 介護予防通所リハビリテーション | 4 | 5.3 |
| 介護予防認知症対応型通所介護 | 4 | 5.3 |
| 介護予防小規模多機能型居宅介護 | 4 | 5.3 |
| 介護予防訪問入浴介護 | 3 | 3.9 |
| 介護予防訪問リハビリテーション | 3 | 3.9 |
| 介護予防認知症対応型共同生活介護 | 3 | 3.9 |
| 介護予防短期生活介護・短期入所療養介護 | 2 | 2.6 |
| 介護予防特定入居者生活介護 | 2 | 2.6 |
| 介護予防支援 | 2 | 2.6 |
| 介護予防住宅改修 | 1 | 1.3 |

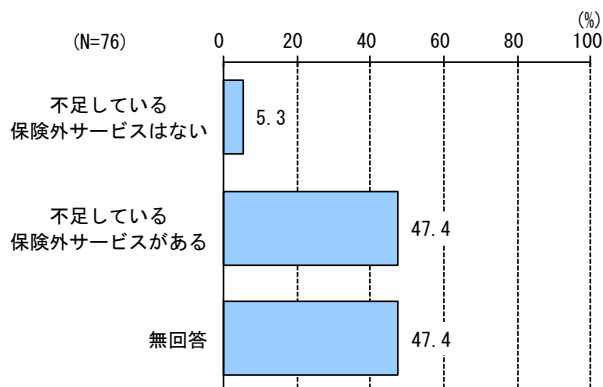
- 「不足している総合事業サービスがある」が 15.8%となっています。不足しているサービスを見ると、「訪問型サービス B（生活支援型）」(11.8%)等があがっています。
- 「不足している保険外サービスがある」が 47.4%となっています。不足しているサービスを見ると、「外出同行（通院、買い物など）」(26.3%)「ゴミ出し」「見守り、声かけ」(17.1%)等があがっています。

【総合事業】



| 総合事業サービス | 件 | 3LA% |
|----------------------|---|------|
| 訪問型サービスB（生活支援型） | 9 | 11.8 |
| 訪問型サービスC（短期集中型） | 3 | 3.9 |
| 通所型サービスA（基準緩和型） | 2 | 2.6 |
| 通所型サービスB（生活支援型） | 2 | 2.6 |
| 通所型サービスC（短期集中型） | 2 | 2.6 |
| 介護予防訪問介護相当サービス（現行相当） | 1 | 1.3 |
| 訪問型サービスA（基準緩和型） | 1 | 1.3 |
| 介護予防通所介護相当サービス（現行相当） | 1 | 1.3 |

【保険外サービス】



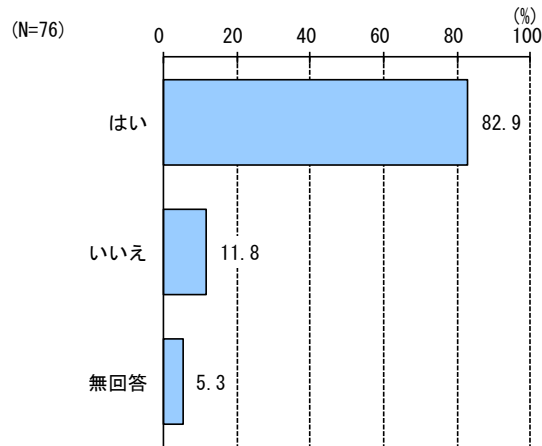
| 保険外サービス | 件 | 3LA% |
|-------------------|----|------|
| 外出同行（通院、買い物など） | 20 | 26.3 |
| ゴミ出し | 13 | 17.1 |
| 見守り、声かけ | 13 | 17.1 |
| サロンなどの定期的な通いの場 | 8 | 10.5 |
| 買い物（宅配は含まない） | 7 | 9.2 |
| 配食 | 6 | 7.9 |
| 移送サービス（介護・福祉タクシー） | 5 | 6.6 |
| 調理 | 1 | 1.3 |
| 掃除・洗濯 | 1 | 1.3 |

(3) インフォーマルなサービスの活用

●問 13 インフォーマルなサービスをプランに位置付けたことがありますか。(○は1つ)

○ インフォーマルなサービスの利用について、「はい」が82.9%、「いいえ」が11.8%となっています。

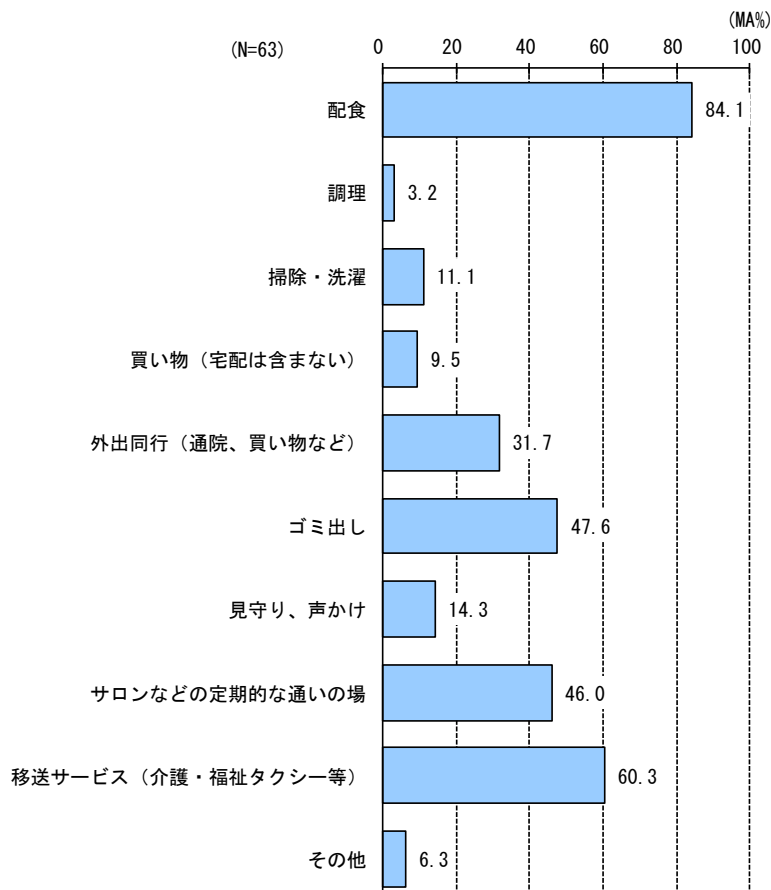
【インフォーマルなサービスの利用】



●問 13-1 問 13 で「1. はい」を選んだ方にお伺いします。あなたがケアプランの作成または見直し時に、利用したことのあるサービスは何ですか。(○はいくつでも)

○ 利用したことのあるサービスについて、「配食」が84.1%で最も多く、次いで「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が60.3%、「ゴミ出し」が47.6%となっています。

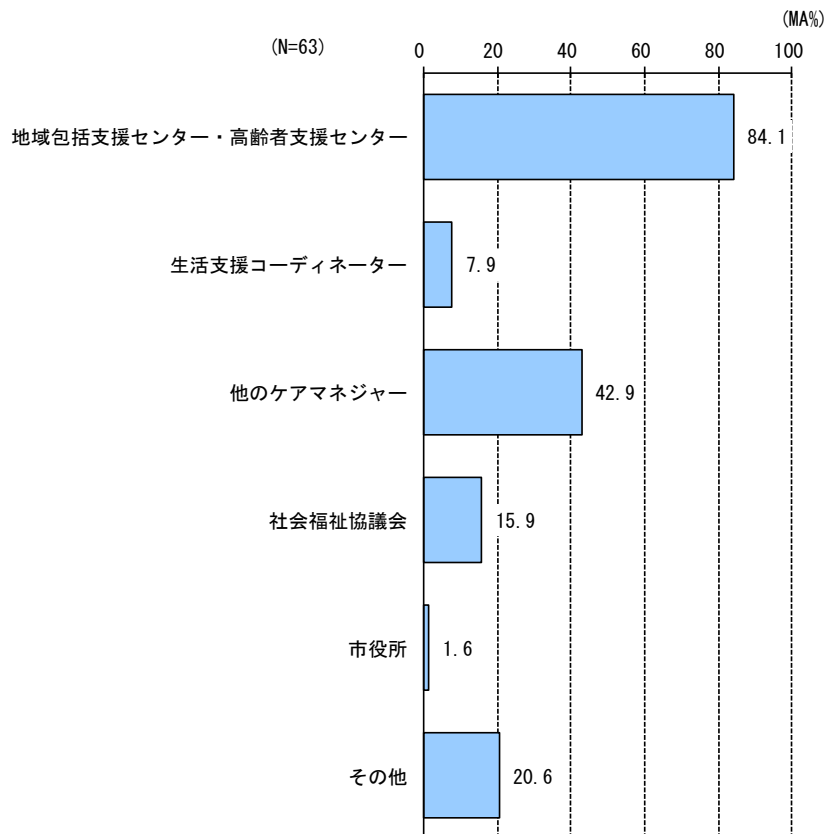
【利用したことのあるサービス】



●問 13-2 問 13 で「1. はい」を選んだ方にお伺いします。どこから情報を入手していますか。(〇はいくつでも)

○ インフォーマルなサービスの情報入手先について、「地域包括支援センター・高齢者支援センター」が84.1%で最も多く、次いで「他のケアマネジャー」が42.9%、「その他」が20.6%となっています。

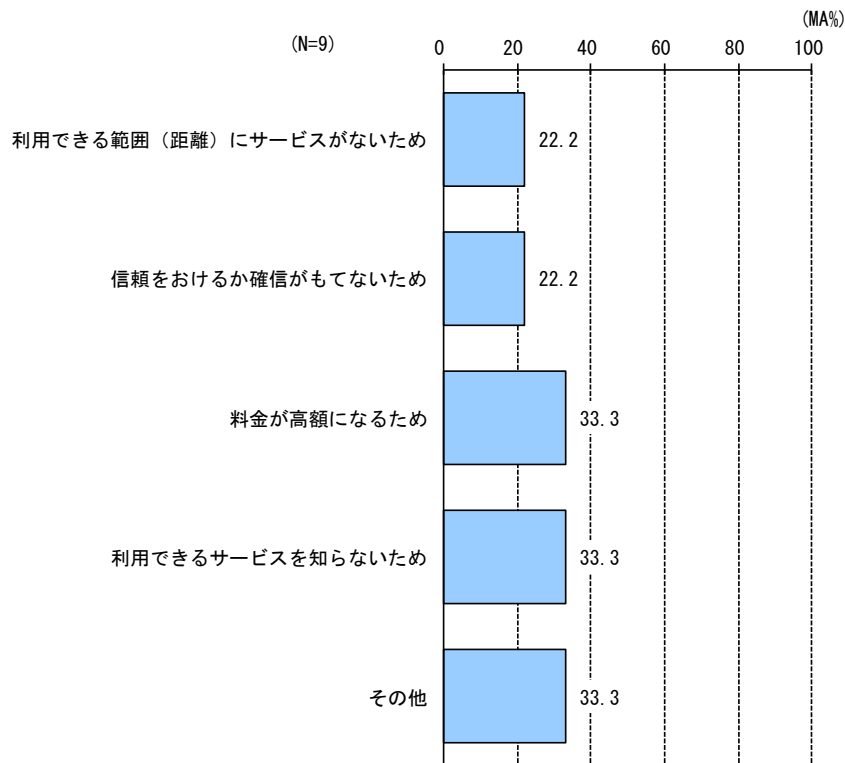
【インフォーマルなサービスの情報入手先】



●問 13-3 問 13 で「2. いいえ」を選んだ方にお伺いします。インフォーマルサービスをプランに位置付けたことがない理由は何ですか。(○はいくつでも)

○ インフォーマルなサービスを利用したことがない理由について、「料金が高額になるため」「利用できるサービスを知らないため」「その他」が 33.3%で最も多く、次いで「利用できる範囲（距離）にサービスがないため」「信頼をおけるか確信がもてないため」が 22.2%となっています。

【インフォーマルなサービスを利用したことがない理由】

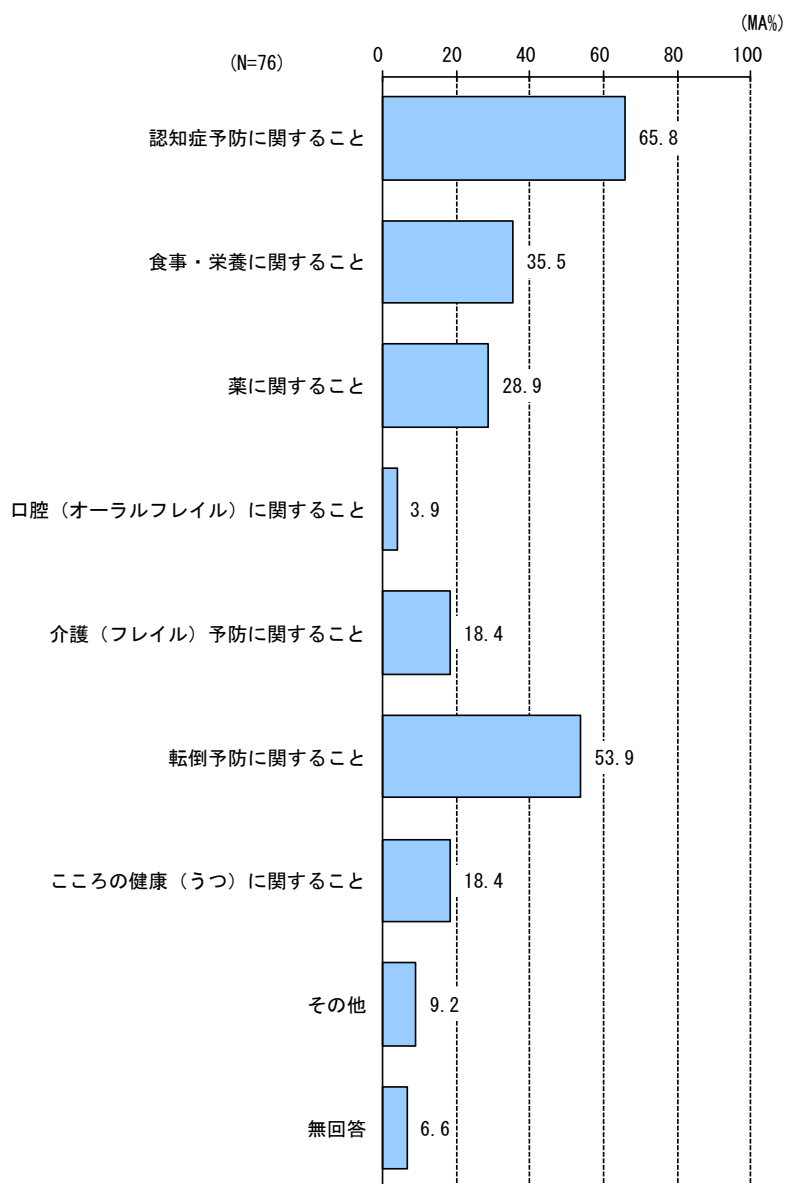


(4) 利用者が知りたいと感じていること

- 問 14 利用者が知りたいと感じていることについて、ニーズが高いものはどれですか。(〇はいくつでも)

○ 利用者が知りたいことについて、「認知症予防に関すること」が65.8%で最も多く、次いで「転倒予防に関すること」が53.9%、「食事・栄養に関すること」が35.5%となっています。

【利用者が知りたいこと】

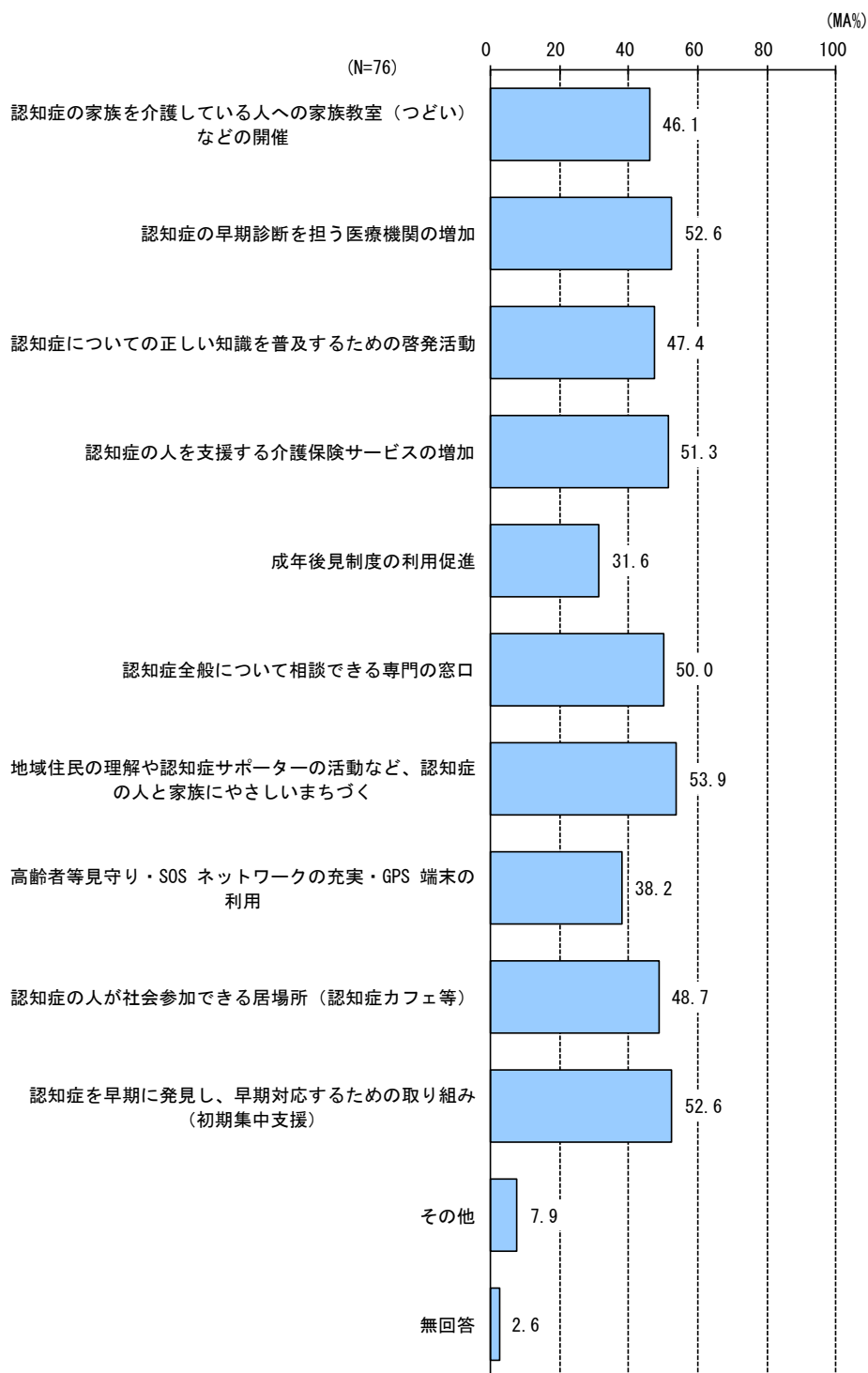


(5) 認知症高齢者への支援

●問 15 認知症高齢者への支援で必要なことはどのようなことだと考えますか。(○はいくつでも)

○ 認知症高齢者への必要な支援について、「地域住民の理解や認知症サポーターの活動など、認知症の人と家族にやさしいまちづく」が 53.9%で最も多く、次いで「認知症の早期診断を担う医療機関の増加」「認知症を早期に発見し、早期対応するための取り組み（初期集中支援）」が 52.6%、「認知症の人を支援する介護保険サービスの増加」が 51.3%となっています。

【認知症高齢者への必要な支援】

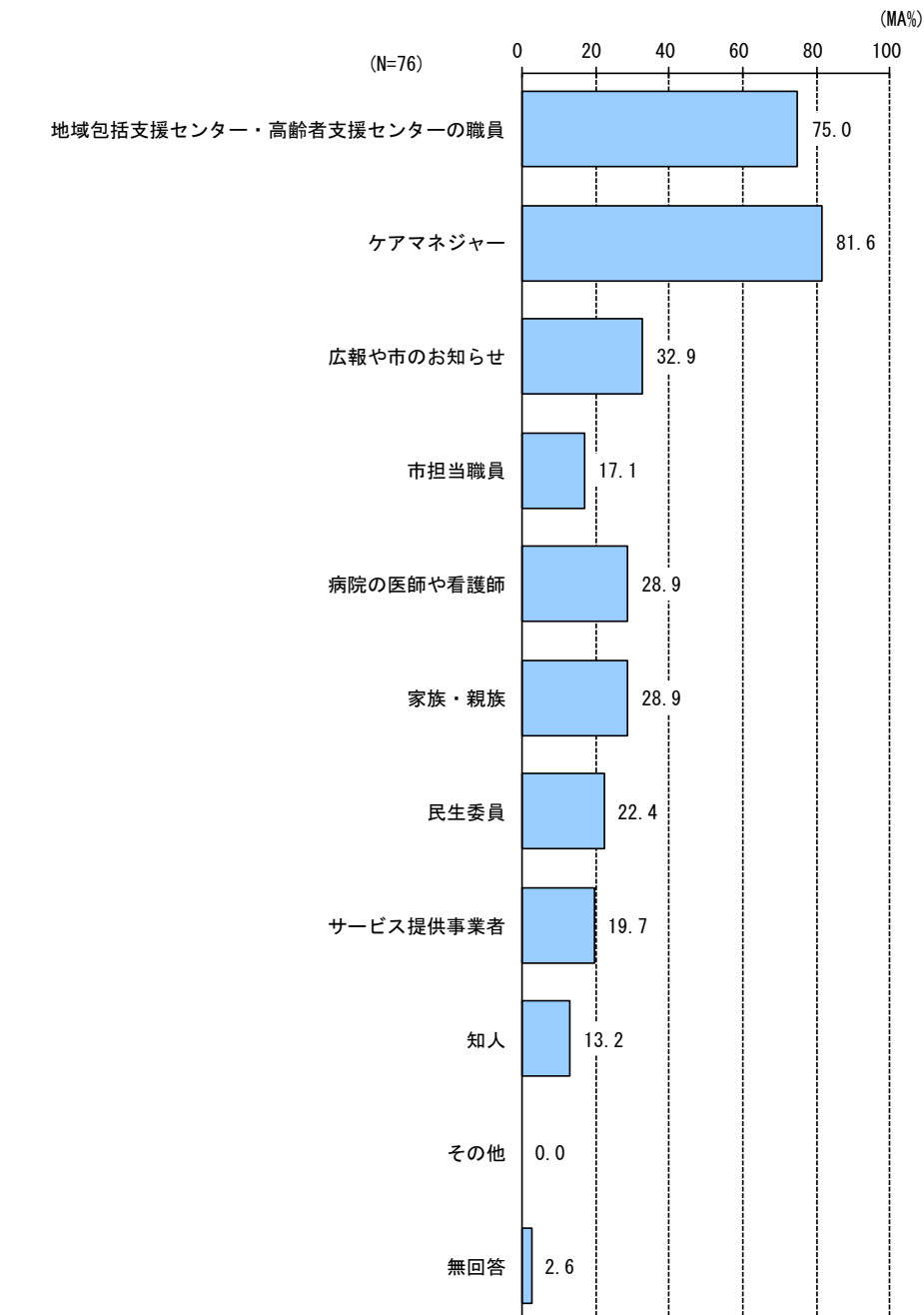


(6) 利用者にとってわかりやすい情報の入手方法

●問 16 高齢者福祉や介護保険に関する情報の入手方法は、次のどれ（だれ）が利用者にとってわかりやすいと思いますか。（○はいくつでも）

○ 利用者にとってわかりやすい情報の入手方法について、「ケアマネジャー」が81.6%で最も多く、次いで「地域包括支援センター・高齢者支援センターの職員」が75.0%、「広報や市のお知らせ」が32.9%となっています。

【利用者にとってわかりやすい情報の入手方法】

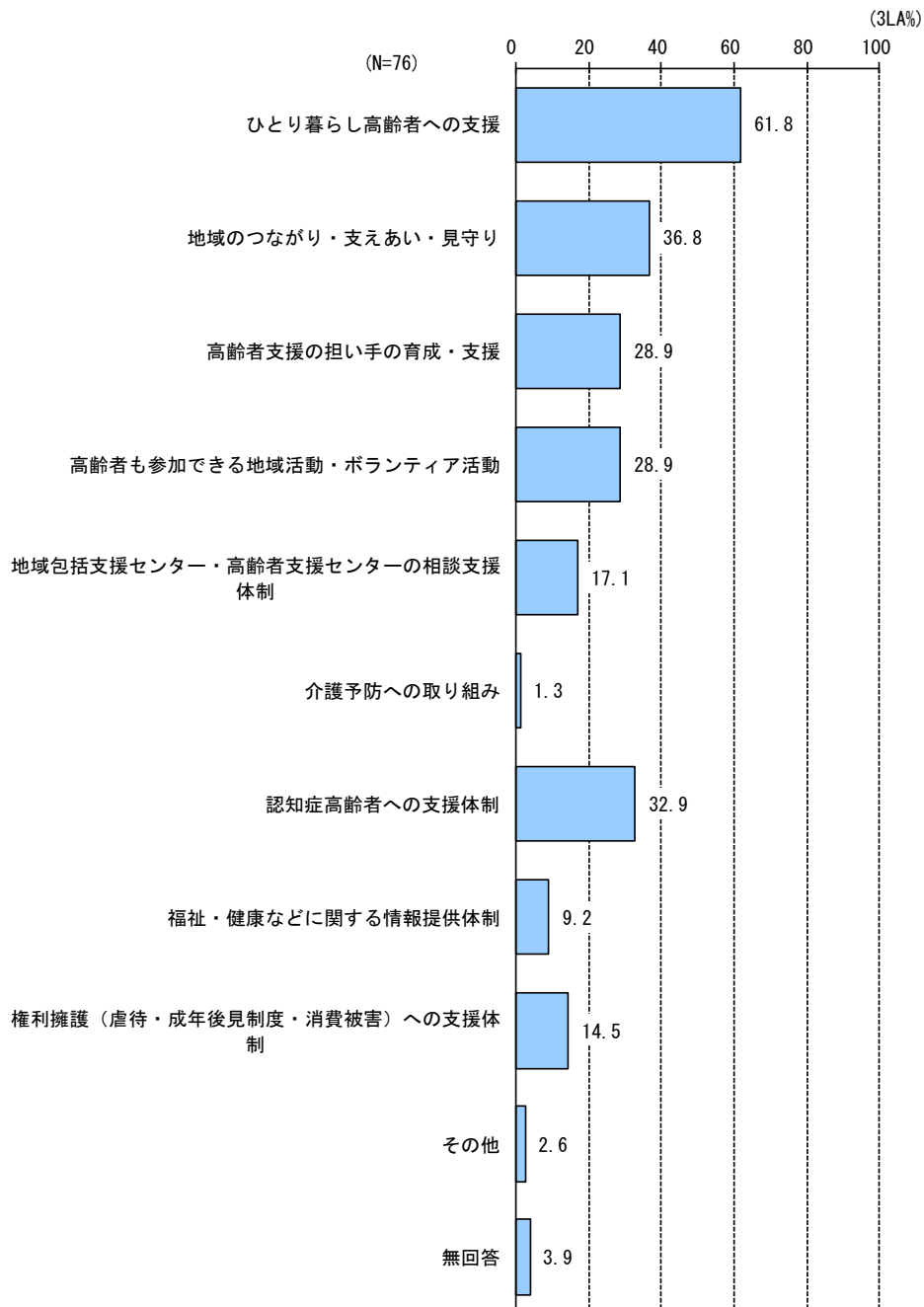


(7) 市の高齢者支援について

●問 17 ケアマネジャーの立場からみて、三田市の高齢者に対する支援について、不足していると感じているものは何ですか。(〇は3つまで)

○ 不足している市の高齢者支援について、「ひとり暮らし高齢者への支援」が61.8%で最も多く、次いで「地域のつながり・支えあい・見守り」が36.8%、「認知症高齢者への支援体制」が32.9%となっています。

【不足している市の高齢者支援】



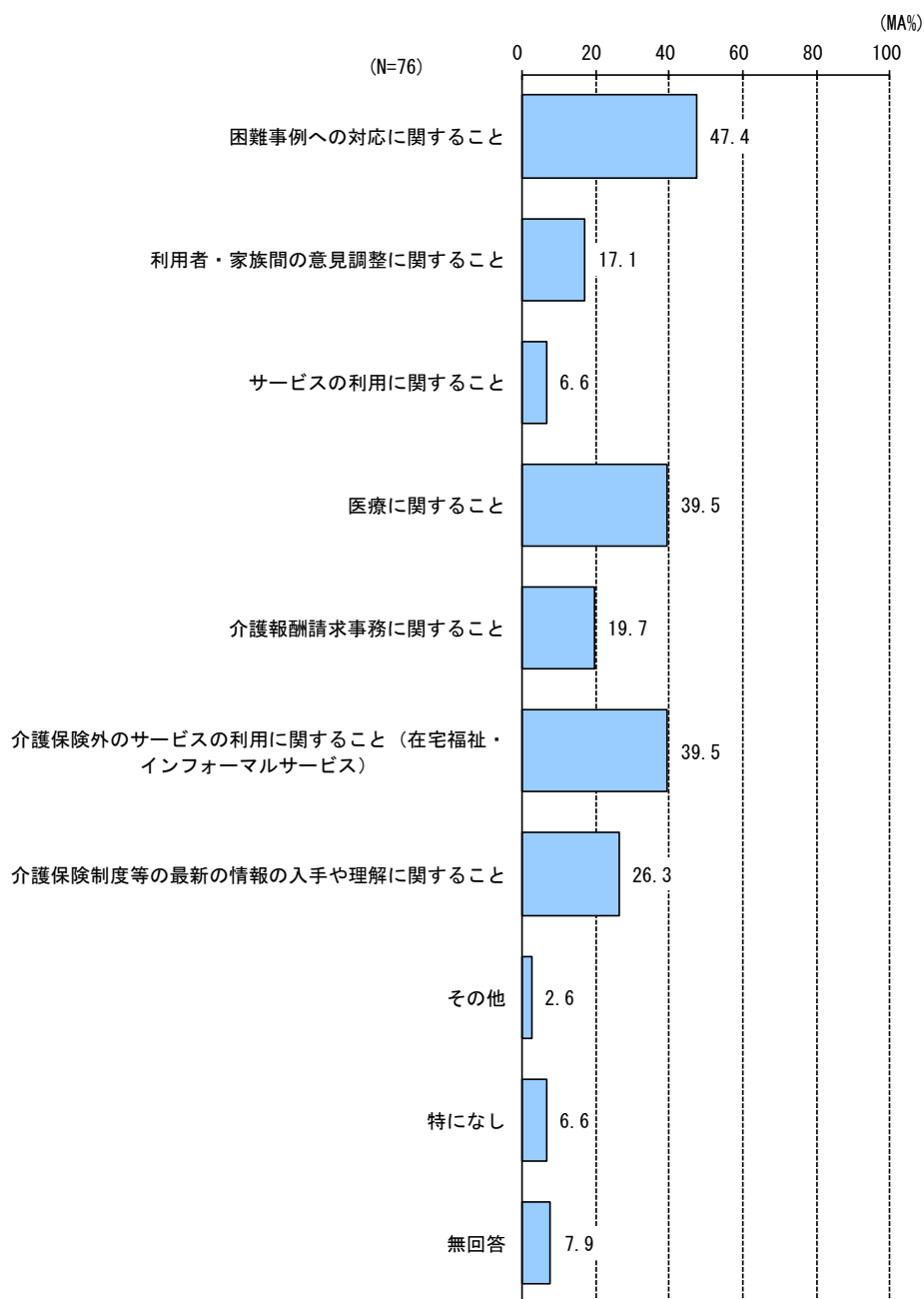
5. 各所との連携について

(1) わからないことや困ったこと

●問 18 業務上、わからないことや困ったことは何ですか。(〇はいくつでも)

○ 業務上わからないことや困ったことについて、「困難事例への対応に関すること」が47.4%で最も多く、次いで「医療に関すること」「介護保険外のサービスの利用に関すること（在宅福祉・インフォーマルサービス）」が39.5%、「介護保険制度等の最新の情報の入手や理解に関すること」が26.3%となっています。

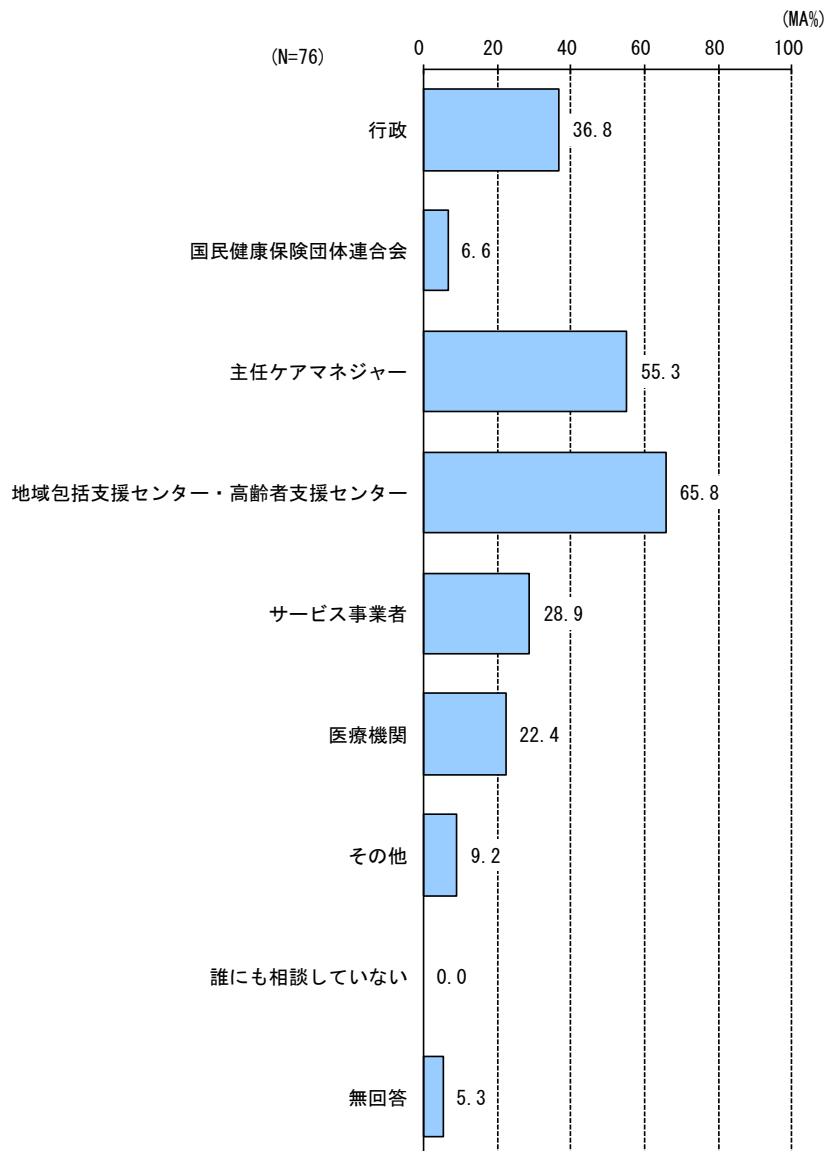
【業務上わからないことや困ったこと】



●問 19 わからないことや困ったことがあったとき、誰に相談していますか。(〇はいくつでも)

○ わからないことや困ったことの相談先について、「地域包括支援センター・高齢者支援センター」が65.8%で最も多く、次いで「主任ケアマネジャー」が55.3%、「行政」が36.8%となっています。

【わからないことや困ったことの相談先】



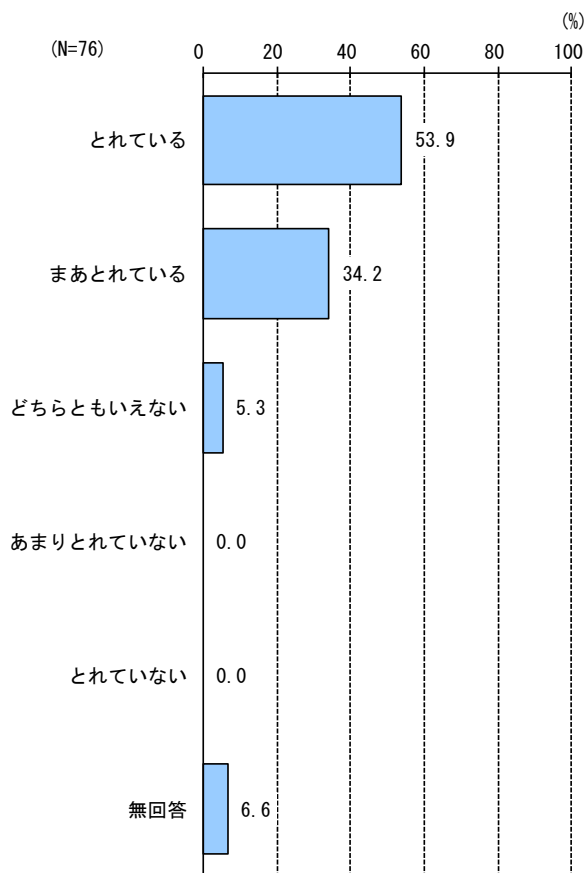
(2) 各所との連携

① 関係機関との連携

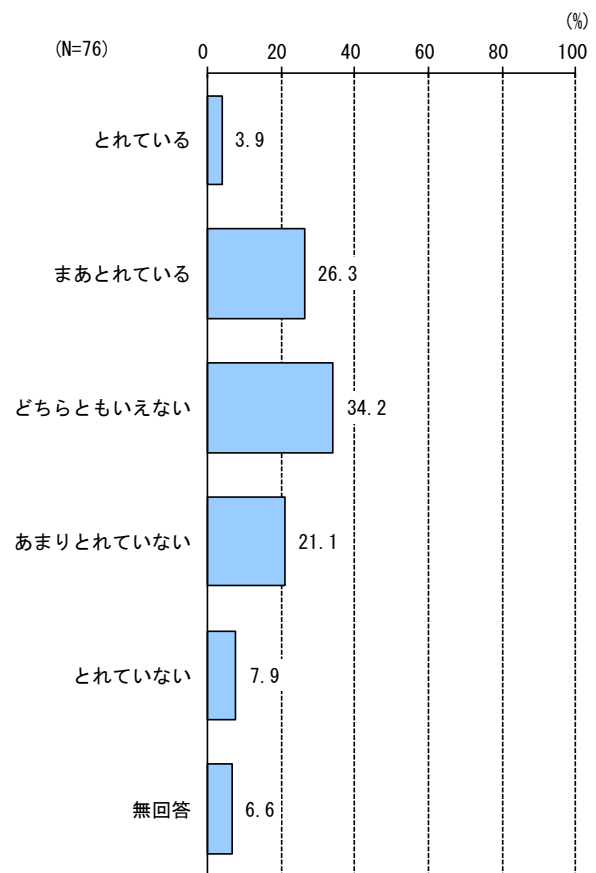
●問 20 あなたは業務を実施するうえで、次の関係者との連携はとれていると思いますか。(それぞれ○は1つ)

- サービス提供事業者との連携について、「とれている」が53.9%で最も多く、次いで「まあとれている」が34.2%、「どちらともいえない」が5.3%となっています。「とれている」「まあとれている」を合わせた“とれている”は88.1%となっています。
- 医療機関（主治医）との連携について、「どちらともいえない」が34.2%で最も多く、次いで「まあとれている」が26.3%、「あまりとれていない」が21.1%となっています。“とれている”は30.2%となっています。

【サービス提供事業者】



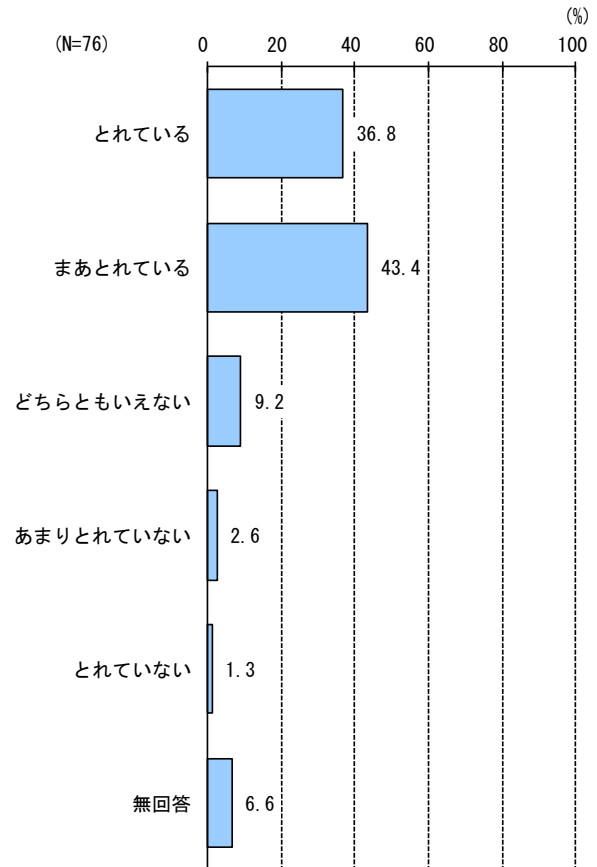
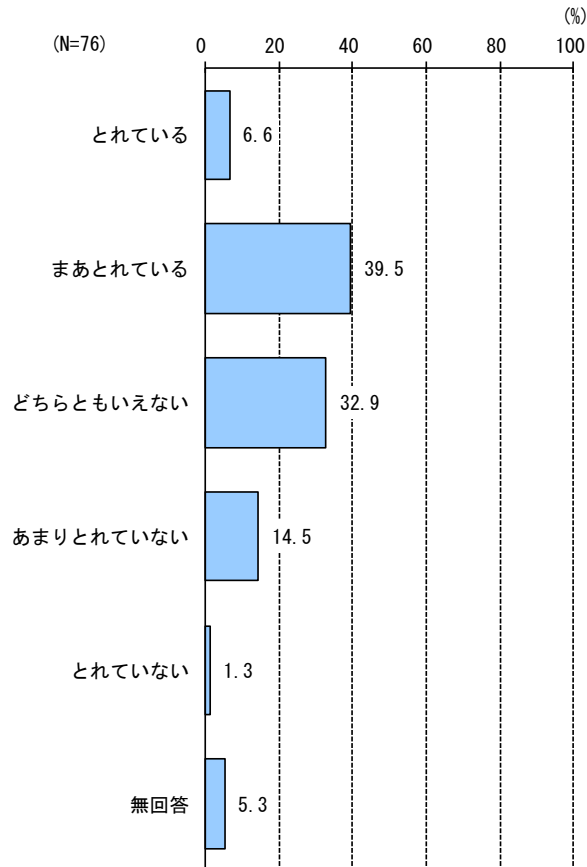
【医療機関（主治医）】



- 医療機関との連携について、「まあとれている」が39.5%で最も多く、次いで「どちらともいえない」が32.9%、「あまりとれていない」が14.5%となっています。「とれている」「まあとれている」を合わせた“とれている”は46.1%となっています。
- 地域包括支援センター・高齢者支援センター職員との連携について、「まあとれている」が43.4%で最も多く、次いで「とれている」が36.8%、「どちらともいえない」が9.2%となっています。“とれている”は80.2%となっています。

【医療機関】

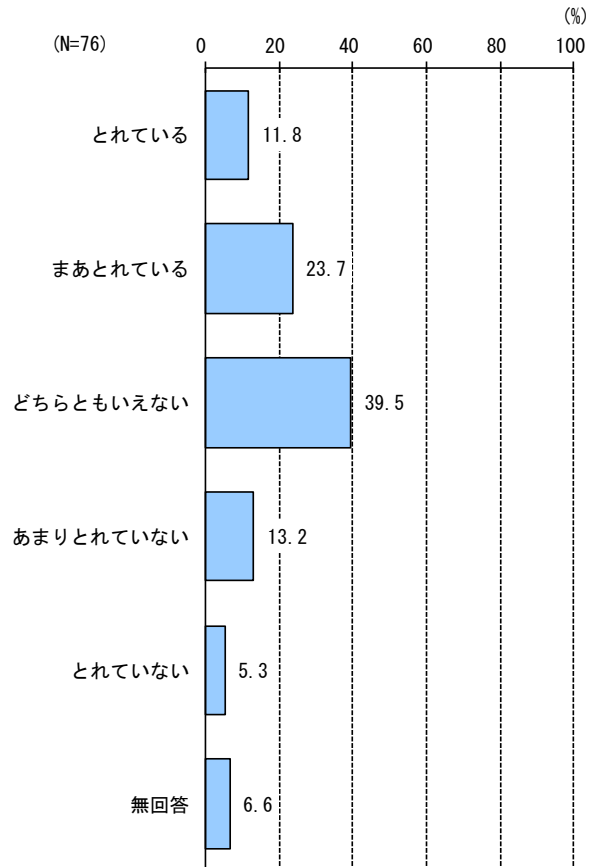
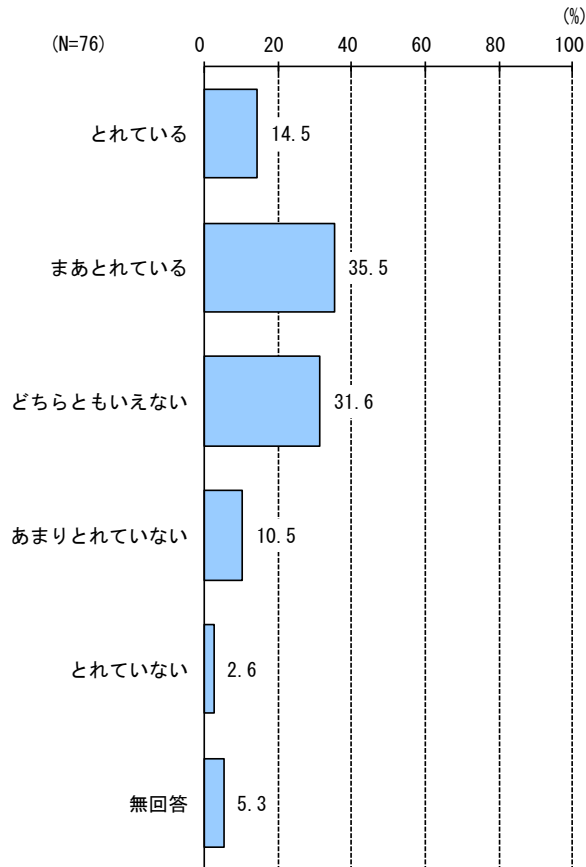
【地域包括支援センター・高齢者支援センター職員】



- 市役所職員との連携について、「まあとれている」が35.5%で最も多く、次いで「どちらともいえない」が31.6%、「とれている」が14.5%となっています。「とれている」「まあとれている」を合わせた“とれている”は50.0%となっています。
- 社会福祉協議会との連携について、「どちらともいえない」が39.5%で最も多く、次いで「まあとれている」が23.7%、「あまりとれていない」が13.2%となっています。“とれている”は35.5%となっています。

【市役所職員】

【社会福祉協議会】

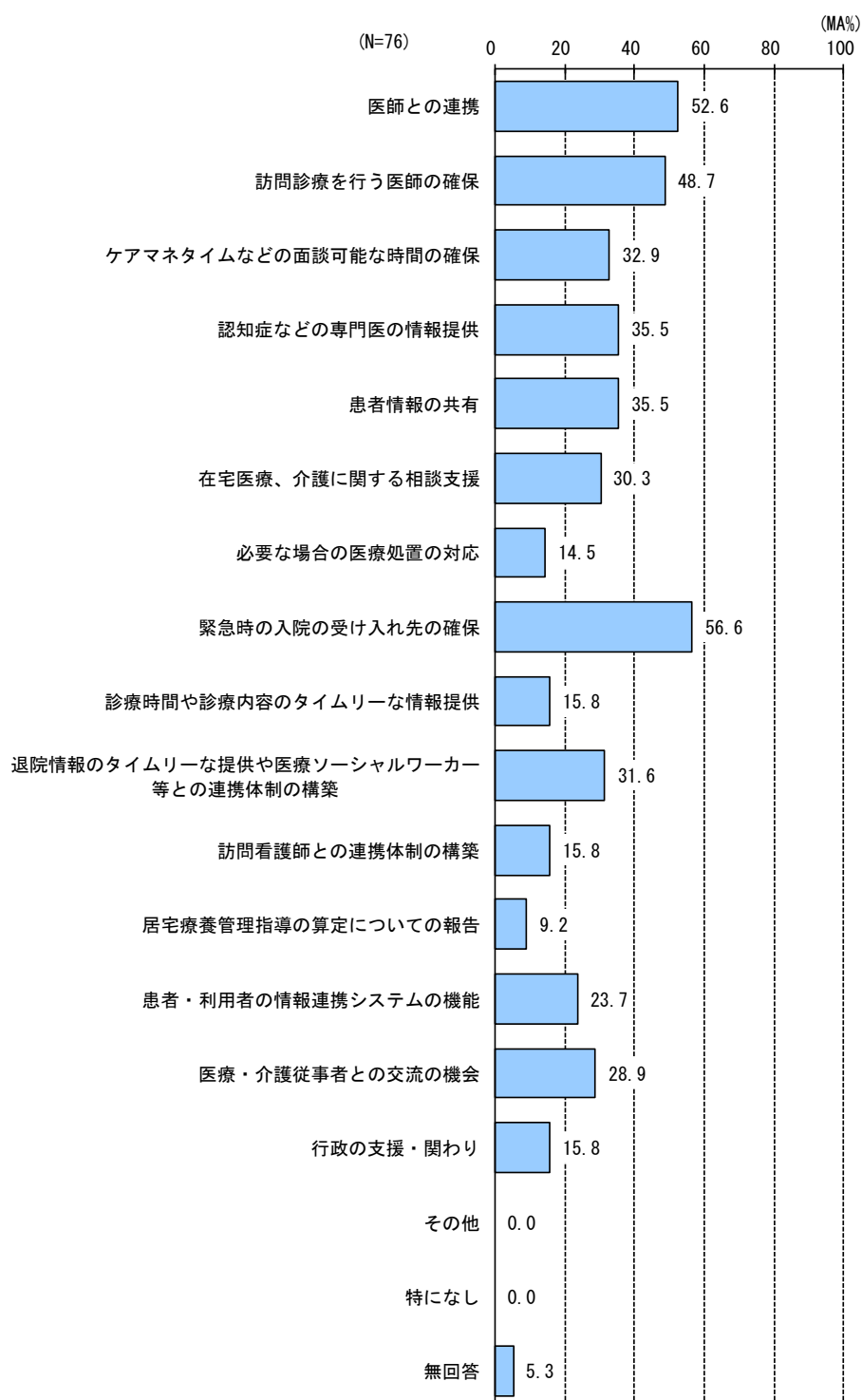


② 医療との連携

- 問 21 あなたは医療との連携でどのような面を充実させるべきと感じていますか。(○はいくつでも)

○ 医療との連携で充実させるべき面について、「緊急時の入院の受け入れ先の確保」が56.6%で最も多く、次いで「医師との連携」が52.6%、「訪問診療を行う医師の確保」が48.7%となっています。

【医療との連携で充実させるべき面】

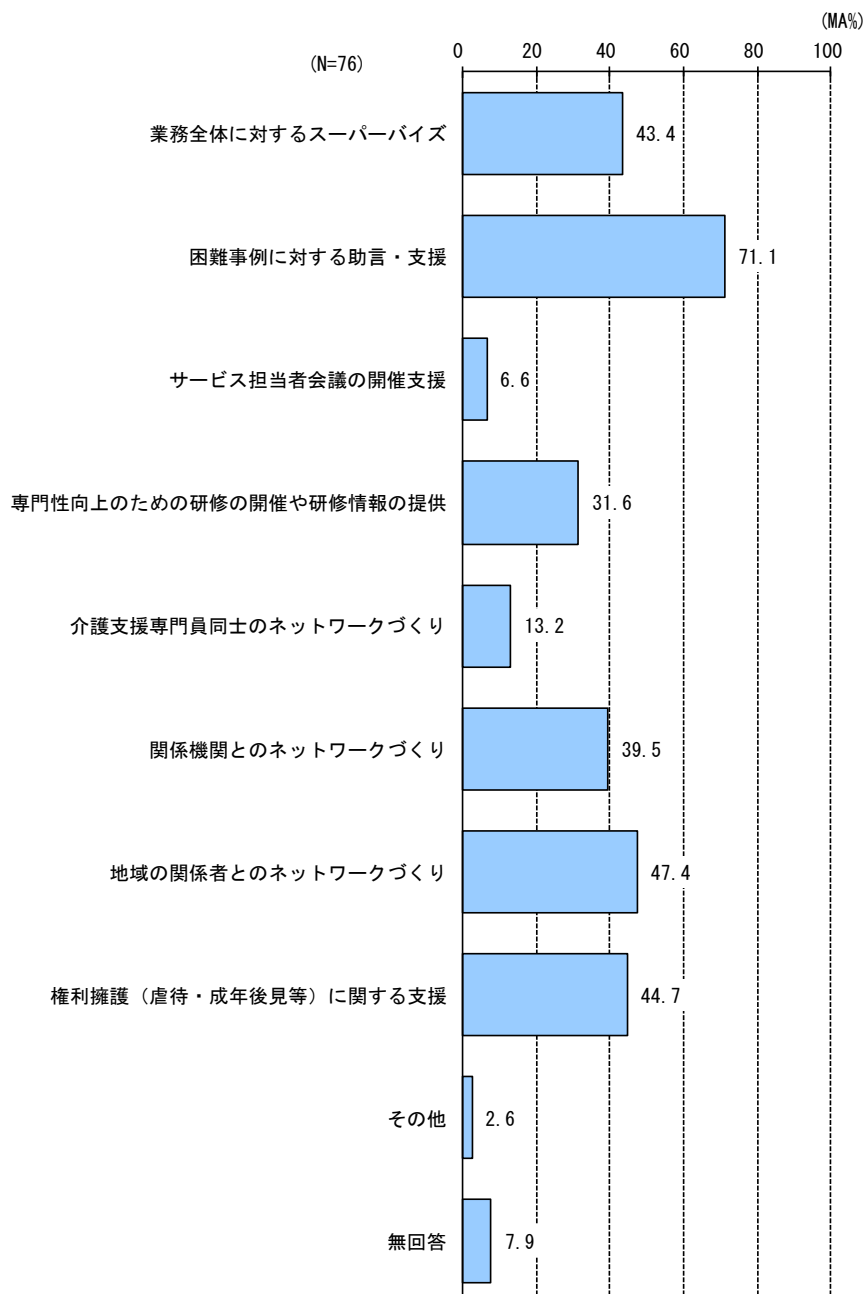


③ 地域包括支援センター・高齢者支援センターとの連携

- 問 22 地域包括支援センター・高齢者支援センターにどのような役割を期待していますか。
(〇はいくつでも)

○ 地域包括支援センター・高齢者支援センターに期待する役割について、「困難事例に対する助言・支援」が71.1%で最も多く、次いで「地域の関係者とのネットワークづくり」が47.4%、「権利擁護（虐待・成年後見等）に関する支援」が44.7%となっています。

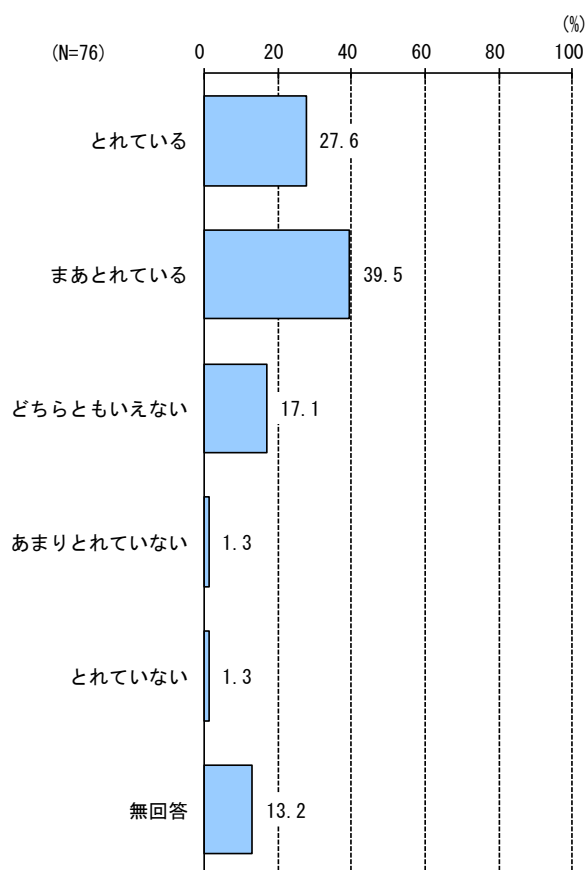
【地域包括支援センター・高齢者支援センターに期待する役割】



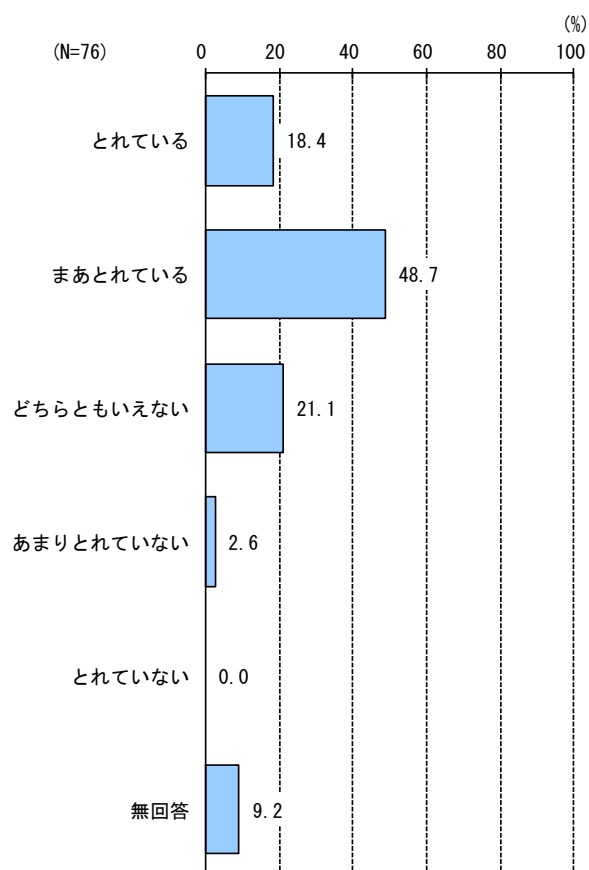
●問 23 地域包括支援センター・高齢者支援センターとの連携はとれていると思いますか。(それぞれ○は1つ)

- 要支援者等の計画策定について、「まあとれている」が 39.5%で最も多く、次いで「とれている」が 27.6%、「どちらともいえない」が 17.1%となっています。「とれている」「まあとれている」を合わせた“とれている”は 67.1%となっています。
- 困難事例への対応について、「まあとれている」が 48.7%で最も多く、次いで「どちらともいえない」が 21.1%、「とれている」が 18.4%となっています。“とれている”は 67.1%となっています。

【要支援者等の計画策定】

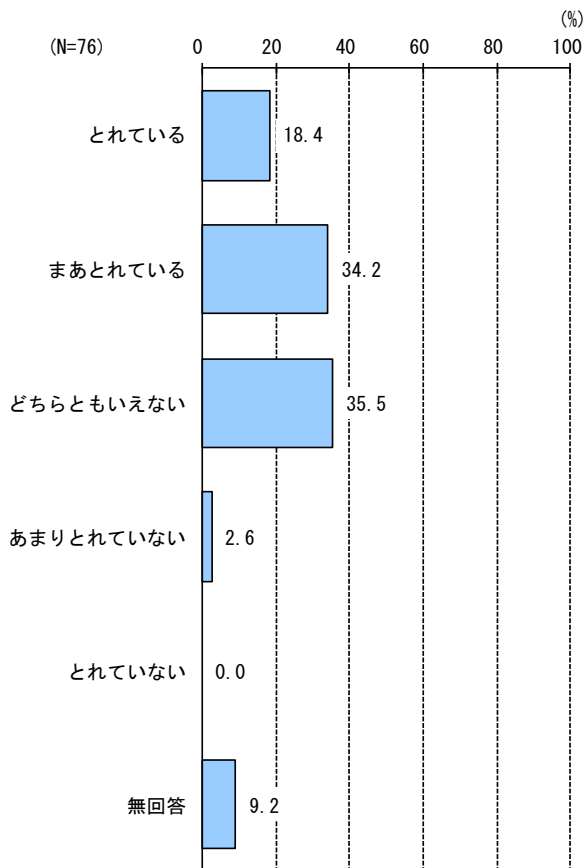


【困難事例への対応】

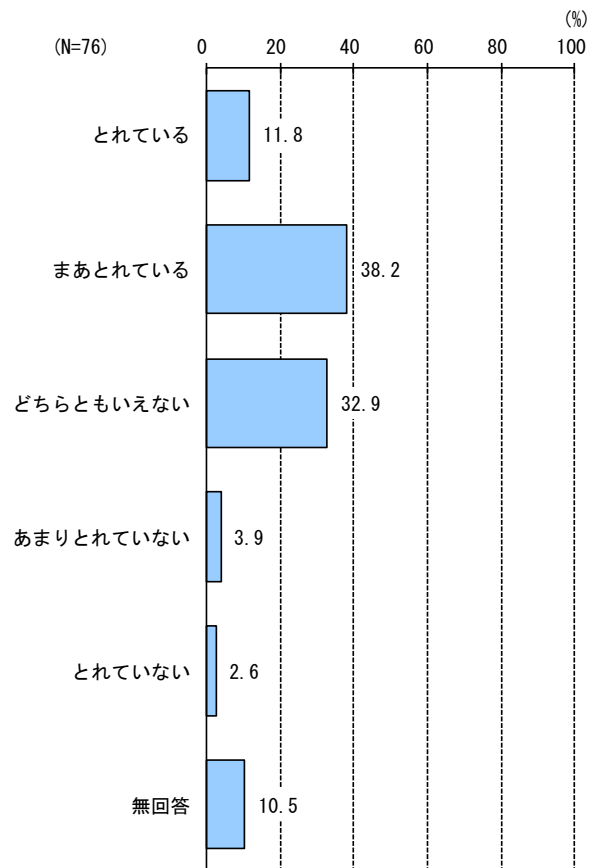


- 虐待事例早期発見と報告について、「どちらともいえない」が35.5%で最も多く、次いで「まあとれている」が34.2%、「とれている」が18.4%となっています。「とれている」「まあとれている」を合わせた“とれている”は52.6%となっています。
- 資質向上に向けた研修について、「まあとれている」が38.2%で最も多く、次いで「どちらともいえない」が32.9%、「とれている」が11.8%となっています。“とれている”は50.0%となっています。

【虐待事例早期発見と報告】



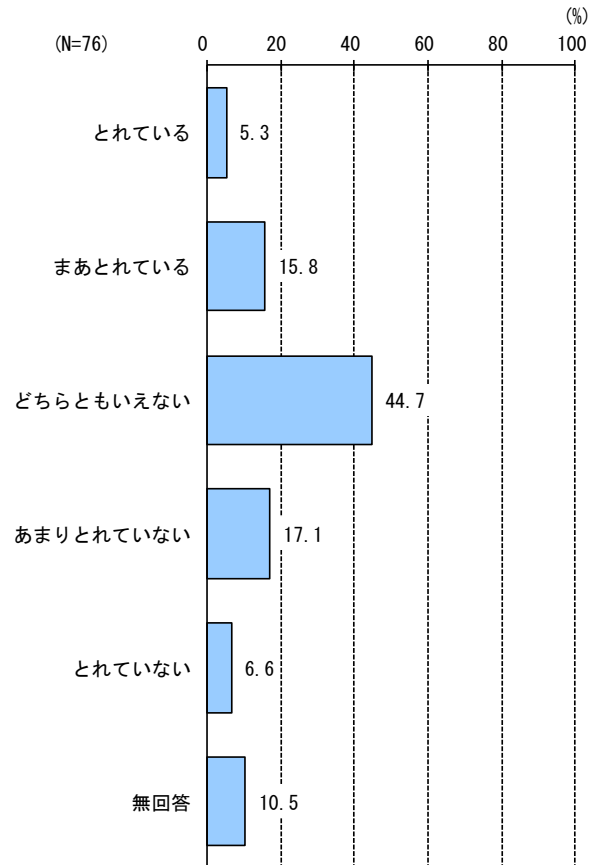
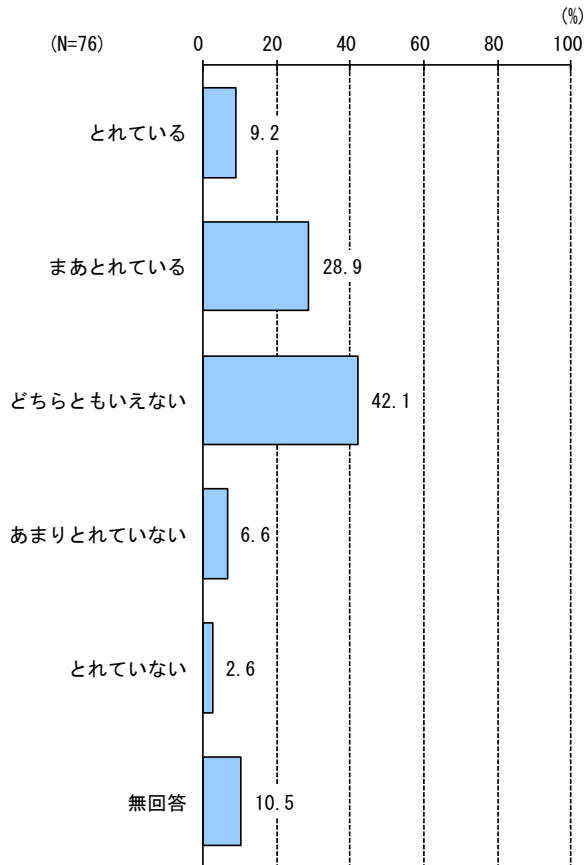
【資質向上に向けた研修】



- 地域や関係機関との調整・ネットワークづくりについて、「どちらともいえない」が42.1%で最も多く、次いで「まあとれている」が28.9%、「とれている」が9.2%となっています。「とれている」「まあとれている」を合わせた“とれている”は38.1%となっています。
- 医療機関との調整について、「どちらともいえない」が44.7%で最も多く、次いで「あまりとれていない」が17.1%、「まあとれている」が15.8%となっています。“とれている”は21.1%となっています。

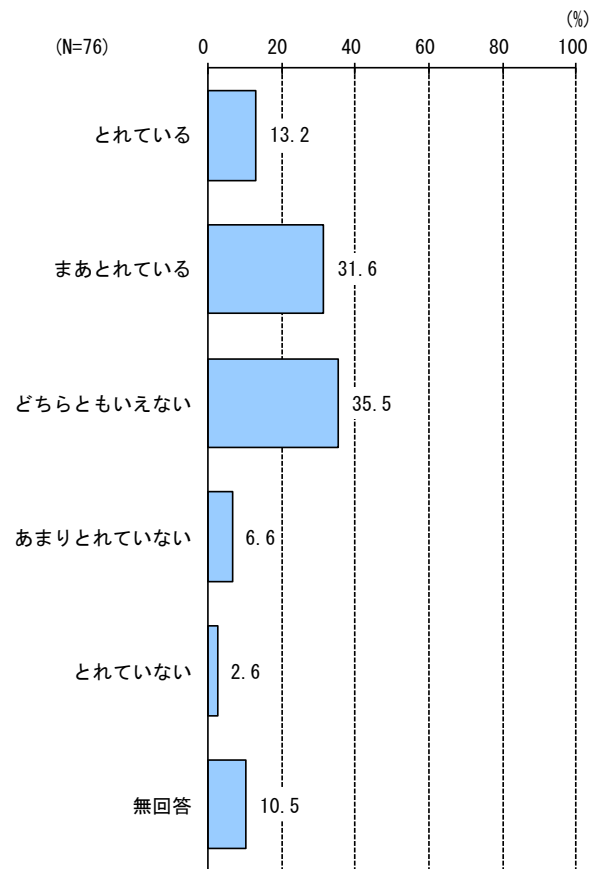
【地域や関係機関との調整・ネットワークづくり】

【医療機関との調整】



○ インフォーマルサービスの情報提供と利用調整について、「どちらともいえない」が35.5%で最も多く、次いで「まあとれている」が31.6%、「とれている」が13.2%となっています。「とれている」「まあとれている」を合わせた“とれている”は44.8%となっています。

【インフォーマルサービスの情報提供と利用調整】



④ 市との連携

●問 24 ケアマネジャーの立場から今後、市に期待する役割は何ですか。(〇はいくつでも)

○ 市に期待する役割について、「相談機能の充実」が53.9%で最も多く、次いで「処遇困難事例への対応の支援」が52.6%、「情報提供の充実」が47.4%となっています。

【市に期待する役割】

